
ゲンジ通信
あげだま
3
B-CLUB
VISUAL
COMIC


ゲンジ通信
あげだま
9
B-CLUB
VISUAL
COMIC

原画：辻初樹 セルワーク：スタジオぎゃろっぷ



これがあげだまだ!!

ゲンジ通信

これが元気なギャグアクションアニメ。スタッフのノリとキャラクターの活きの良さは今世紀最大だ! いまここに、その全貌を解き明かす!





◀同じく、ばっちゃんのおかめさんだ。とってもやさしいぞ。



◀あげだまのじっちゃん、えび天だ。昔はヒーローだったぞ。



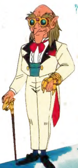
◀これが、あげだマンに変換したあげだまの勇姿だ! 彼は、ヒーロー星から、夏休みを利用して地球に遊びに来たのだ!



▼彼が、あげだまの無二の親友であり、あげだマンの変換パワーでもあるワープ郎だ!

主人公の源氏あげだまは、宇宙の平和を守る歴代ヒーローを輩出しているヒーロー星から夏休みを利用して地球に遊びに来た少年で、いざというときにはお供のワープ郎（両親がお目付役として携えさせた）を使って正義のヒーローあげだマンに変換することができる。秘蔵の予言書に従って世界を征服せんとするノットリダマス11世こと九鬼雷蔵が巡らせる陰謀や、雷蔵の孫娘九鬼麗（怨夜巫女）らとの確執をまじえ、その予言書の詩の解釈によって合成獣が創造され奇天烈な作戦が展開される。だが、彼らの野望はあげだまの活躍でことごとく潰えてしまうのだ。物語はヒーロー星で突然変異的

CHARACTERS.



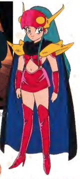
◀この物語の悪役、ノットリダマス11世こと九鬼雷蔵。とっても大金持ち!



▲雷蔵の孫の久鬼　麗は究極ワガママお嬢様だ!



◀ウーロン茶。老けてるけど小学四年生(?)だ。



▲彼女が、ノットリダマス 11世の右腕、怨夜巫女。実は孫の麗だぞ。



▶麗の親衛隊長、ツリバン。実家は不動産屋だぞ。



◀えび天とおかめは、あげだまの保護者だ。



▶物語のヒロイン・平家いぶき。彼女はあげだまの地球での同級生だ。



▼あげだま最大の敵・モデム(右)とイーハブ。彼らはヒーロー星で生まれた究極の悪超人だ。

に生まれる悪のヒーローとも言えるモデムとイーハブとの決戦でクライマックスを迎え、アクション物としても高いテンションを獲得している。

この作品で特筆すべきことは、何でもアリの徹底した悪ノリとテンポの良さで、破天荒な展開とユニークなキャラクターたちが、設定世界を所狭しとばかりに暴れまくるといった趣向のものだった。ご町内アクションと銘打たれた作品ポリシーはほぼ全編を通して貫かれており、クライマックス近辺のシリアスな展開の中でも軽妙さは失われず、キャラクターたちが実に生き生きと描かれていた。

STAR CHILD JACKET COLLECTION

スターチャイルド ジャケット コレクション

ヘビーユーザーのニーズに応える“スタチャ”の『あげだま』ソフトのジャケットを全て紹介しよう。クレジットレスの図版を堪能してくれたまえ！

1



2



3



4



5



6



9



7



8



10



11



■1、ゲンジ通信あげだま1 ¥5800 V/KIVA-119 LD/KILA-31
第1話〜第4話収録。おまけ映像付 92/7/4
■2、ゲンジ通信あげだま2 ¥5800 V/KIVA-120 LD/KILA-32
第5話〜第8話収録。おまけ映像付 92/8/5
■3、ゲンジ通信あげだま3 ¥5800 V/KIVA-121 LD/KILA-33
第9話〜第12話収録。おまけ映像付 92/9/5
■4、ゲンジ通信あげだま4 ¥5800 V/KIVA-122 LD/KILA-34
第13話〜第16話収録。おまけ映像付 92/10/7
■5、ゲンジ通信あげだま5 ¥5800 V/KIVA-123 LD/KILA-35
第17話〜第20話収録。おまけ映像付 92/11/6
■6、ゲンジ通信あげだま6 ¥5800 V/KIVA-124 LD/KILA-36
第21話〜第24話収録。おまけ映像付 92/12/4
■7、ゲンジ通信あげだま7 ¥5800 V/KIVA-125 LD/KILA-37
第25話〜第28話収録。おまけ映像付 93/1/9
■8、ゲンジ通信あげだま8 ¥5800 V/KIVA-126 LD/KILA-38
第29話〜第32話収録。おまけ映像付 93/1/9
■9、ゲンジ通信あげだま9 ¥5800 V/KIVA-127 LD/KILA-39
第33話〜第36話収録。おまけ映像付 93/2/5
■10、ゲンジ通信あげだま10 ¥5800 V/KIVA-128 LD/KILA-40
第37話〜第40話収録。おまけ映像付 93/2/5
■11、ゲンジ通信あげだま・Fight OH! ¥3000 KICA-83
記念すべきアルバム第一弾。主題歌、挿入歌、オリジナルミニドラマ、BGM入り 91/11/21
■3、ゲンジ通信あげだま・メキシカンRock A GO! GO! ¥3000 KICA-121 ノリノリのアルバム第二弾。新主題歌や挿入歌、BGMを収録 92/7/21
■以下、順次発売予定のもの
■ ゲンジ通信あげだま11 ¥5800 V/KIVA-129 LD/KILA-41
第41話〜第44話収録。おまけ映像付 93/3/5
■ ゲンジ通信あげだま12 ¥5800 V/KIVA-130 LD/KILA-42
第45話〜第48話収録。おまけ映像付 93/3/5
■ ゲンジ通信あげだま13 ¥5800 V/KIVA-131 LD/KILA-43
第49話〜第51話。おまけ映像付 92/4/5
■発売元/キングレコード

九鬼麗

超絶我侭究極お嬢様！

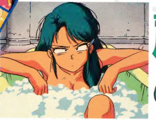
ノットリダマスの予言書に従って一代で莫大な財を築き上げた九鬼雷蔵の孫娘。祖父の溺愛のもとで育ったため非常識なほど我侭だが、仕事に忙殺される両親の愛を求める寂しい少女でもある。



▲そう！　彼女が超絶ワガママお嬢様だ！



◀彼女の存在するところ、常に花が咲き乱れ、光が宙を乱舞する。


▲しかし、そんな彼女も、ふと、疲れを感じる時がある……。


▲宿敵と相見えた時……？


▲事故に巻き込まれた時……。


▲プライドを傷つけられた時……。



資産家の家に生まれ、一般常識を凌駕した価値観を持ち、盛蓄麦東小学校に君臨する女王様。それが彼女、九鬼麗である。小学生の範疇を超越した彼女の行動は、実に無軌道で奔放で横暴だ。彼女の行く手を阻むものはただひとりとして存在せず、すべての市民は彼女の足下にひれ伏していた。それが、あげだマンの登場によって覆された。世界は彼女のものではなかったのだ。このつまずきが、彼女の人生観を変える契機となった。さらに、彼女の奔放な行動は基本的に両親とのディスコミュニケーションによるストレスが原因であることが明らかになる。彼女自身、あげだマンの存在によって、自分の周辺にいる人々にも、それぞれの幸福と夢があることを感じることができるようになったのだ。

九鬼麗びいきのファンにいわせると、彼女こそがこの作品の主人公であるらしい。予言詩に奇妙な

CHARACTERS.


▲ダーリン、いぶきから電話よ〜


▲あげだまと住んでるとうそぶく。


▲しかぁし！　そんなことで、へこたれるような彼女ではない！


▶あげだまの幸せなんて、メッチャクチャにしてさしあげますわ！……とは言うものの。


▲やっぱり彼女は、一般の、普通の、ただの……素直で可愛い、小学四年生の女の子なのです。





▶久鬼家の令嬢である意地とプライドで、精一杯、虚勢を張ったりもするけれど……。

解釈を加える雷蔵もいい味を出しているし（川尻〇のほうがもっと奇天烈な解釈をするが）もとより佐藤、鈴木、田中ら三人組の悲哀に満ちた扱われようは同情をさそわずにはいない（彼らの麗に対する忠誠度は、実際にはかなり高いと思うのだがどうだろう？

ちなみに、本編にしばしば登場する「空に登るのが好きな白鳥さん」は、鈴木役の岩永氏が同じく声優の白鳥由理さんのファンだったからで「ハイソックスのクルリン」も氏の嗜好であるということがアフレコ終了後の居酒屋で判明したためスタッフが本編に導入したというものらしい。まあ、これは余録）。また、『あげだま』のエピソードのみならず、ストーリーそのものを牽引していたのも、他ならぬ九鬼麗であったとする見方も不可能ではない。そして、彼女は怨夜巫女へと姿を換える。

衝動のままに生きる女戦士！

怨夜巫女

怨夜巫女は、九鬼麗が変身した姿。初代ノットリダマスが書き残した大予言を解明し、ノットリダマス11世である祖父、九鬼雷蔵の世界征服の野望を実現するため私利、私欲、私怨を交え、あげだマンと戦うのだ。



◀いま！ 盛蕎麦市で噂の彼女。あれがハチャメチャ怨夜巫女だ！

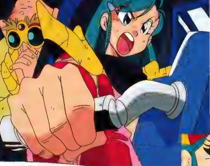
▶彼女は、負けても負けても負けても負けてもあげだマンに戦いを挑むのだ！

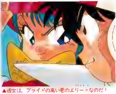
◀見よ！ これが彼女の、豪快で華麗なるやられシーンだ！ カモネギっ！

▼「こんなことでまいる私じゃありませんわ！」



怨夜巫女は、九鬼麗が思う様タイラントに振る舞うための仮面である。彼女には、公私（？）を使い分ける程度の分別はあるということだろうか？ 実際、事件の発端は雷蔵の予言解釈であったとしても、物語を展開させるのはほとんどいつも彼女であった。それは、あげだまへの反発であったり、いぶきへの嫉妬であったりする。動機としては、彼女の幼児性を垣間見せるファクターともなり、本質的に彼女がイノセントであることを明らかにしている。もっとも、ノットリダマスの血族が、その義務として人民に君臨することを志向しているのであれば、彼女もまた正当な継承者であるから、致し方ない側面もあるだろう（ないか）。実際、あげだマン（あげだま）登場以前に彼らがどういった生活を送っていたはつまびらかではないので、これらはあくまで憶測でしかない。ただし、祖父である雷蔵の野望と怨夜巫女の衝動が、九鬼麗の両親の納得づくであるかどう





▲彼女は、プライドの高い悪のエリートなのだ！

▲祖父であるノットリダマス11世の意志を[illegible]、日[illegible]戦[illegible]



▼「人類の敵であるモデムたちとも戦いますわ！」



▶食らえ！　必殺・巨大あんころモチ投げ攻撃



▲野望を達成するため、[illegible]さない！



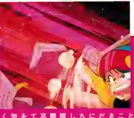
▶「私は絶対に負けませんことよ……っ！」



▲彼女は[illegible]負け[illegible]



▲時には傷ついて倒れても……



◀負けない、負けない、負けない、負けない、負けない、負[illegible]ない[illegible]！！！

かは[illegible]。（例えば、ノットリダマスの予言[illegible]が両親には秘密であるとしたら、祭夜巫女としての行動は、両親に対する反発だと考えることもできるからだ。世間に対する九鬼家としての体面以上に、要は祭夜巫女としての行動を両親に知られたくないのではないだろうか。（その周辺の事情などは、OVAなどで明らかにして欲しいところではあるが）ともあれ、祭夜巫女は今日も[illegible]市に[illegible]するのだ。

愛と美貌の究極女王様!

ハイパー怨夜巫女変換!!





見よ！ハイパーなこの力！



[illegible]でない[illegible]ならノットラグマス一党は、備えたワープ郎からデータを盗み、あげだマンの変身システムを解明した。そして、彼が子供のころから大事にしていたパンダのぬいぐるみを使ってＰＣ郎を作り出した。その変換は「なんじゃあっ、こりゃあ！」なものだったが、打倒あげだまを誓う彼はあえてその試練に耐えぬく（笑）。そして、彼女はあげだマンと互角に戦う力を手に入れた。しかしワープ郎と同じく人格を持ったＰＣ郎は、利己的で身勝手なトラブルメーカーでしかなかった。本来憧れていたワープ郎とあげだまのような友達関係は成立させられず、その上、子供のころからの心の拠り所に裏切られたのだ。逆にそのことが、彼女の内面を成長させる通過儀礼となった。

　彼女の通う盛華東小は私立だと思われるが、ケンサク先生らのような例外を除いて教育機構を意のままにするのだから、世紀の大科学者、九鬼盛蔵の権力は、盛華市の中では想像以上に強大なのだろう。子供のころから、そのような権力構造（環境）に慣らされていれば、人間は人の痛みに対して不感[illegible]盛蔵は

CHARACTERS



▲それは、基本的に、彼女が素直で優しい(そしてか弱い)心の持ち主であることの証明に他ならない。



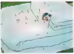
▲常に両親の愛に飢えている麗は



▲母親のことを言われてしまうと



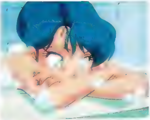
▲とたんに自我が崩れてしまう。



▲彼女が真に心を開いた時……



▲両親への思いに心は揺れる。



▲彼女が時折見せる憂いを秘めた表情は、それを見た者を魅了する。

▲その時こそ、彼女が真のお嬢様として世界に存在を知らしめることになるだろう……。



立身出[illegible]の力を借りてはいるが、[illegible]代で[illegible]し遂げた人物でもある。よく、長者は三代で身上を潰すといわれるが、それは、三代目になると祖父母、父母の苦労を実感できず、浪費傾向が身に染み付くかららしい。だが、麗の感受性は摩耗してはいない。あげだまの出現によって彼女は自分の生き方に疑問を抱き、ひいてはライバル同士の連帯を成立させ、共に戦う境地にまで到達することができた。最大の敵が故郷に帰還すると[illegible]ぼしたのだ。あげたまはきっかけに過ぎない。彼女は祖父雷蔵が述懐するように、本来は果てしなく優しい女の子に違いない。

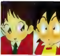
開運カルトマルチアビリティ小学生

平家いぶき

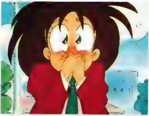
主人公あげだまが一目惚れした女の子。目立たない普通の女の子と思いきや、幼少のみぎりから様々な方面で豊かな才能を発揮し、そのあまりにも強大すぎる技能のせいで孤立する恐怖を知り、その能力を自ら封印していた(笑)。



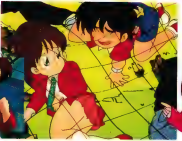
▲盛蕎麦東 [illegible]



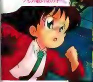
▲[illegible]



▲彼女は、あげだまの地球でのガールフレンドであり――



▶ノットリダマス11世の悪巧みに翻弄されはするが――



▼頭も良く、スポーツも万能の女の子



ヒーロー星からやってきたあげだまがひと目で心を奪われた女の子。盛蕎麦東小に通う、ごく普通の小学生で、麗の横暴や鉄夜巫女たちの陰謀に翻弄される。ただし、この作品における彼女の存在自体が、麗との対比において際立っていたことは確認しておかなければならない。通常のギャグものには、視聴者とのバランスを保つために第三者的な視点をもったキャラクターがいるものなのだが、この作品には、その存在が確認できない。（あえていうなら三人組なのだが、彼らは基本的に麗に従属しているため、物語構造そのものの反発勢力とはなりえない。もったいないほど完全に普通の人で、なおかつフェティッシュではあるのだが）本来ならいぶきは、いわゆるツッコミを入れる位置にあるはずだった。ところが、彼女は逆に事態をエスカレートさせる傾向にあった。物事の発端にはならずとも、いつも拍車[illegible]てい



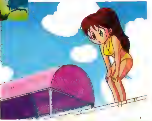


▲時には、勘違いからショックを受けたり——

◀あまりの可笑しさに大口を開けて大笑いしたり——

▼夏にはプールで泳いたり……う〜ん、ナイス





◀弟のこだまと一緒にお風呂に入ったり……う〜ん、ますますナイス



▶普通の女の子のように、悲しみに沈み、涙にくれることもあるけれども——



▲特殊な[illegible]



▲彼女[illegible]は、涙へ[illegible]はない——

た。やめてといいつつ背を押すタイプなのだろう。それは、あげだまとの交際においても現れている。

あげだまと出会う前までの彼女は常にパッシブで、積極的にアクションを起こすことはなかった。それは、彼女の生い立ちに原因があった。幼いころからの彼女のオ能が、通常のコミュニケーションに障害をもたらす。自分が本気を出すと、友人を恐れさせ、傷付けてしまう。このトラウマが彼女の積極性をそいだのである。彼女はあげだまが現れるまで、極度に逼塞していたはずだ。そして、それは開放された。あげだまは、彼女を暗黒の無限回廊から救出したのである。その意味で、彼はいぶきにとって実際的にもヒーローだったのだ。彼女が精神的にあげだまに依存しているようには見えないが、好意から恋愛感情にまで発展する速度を考えれば、あげだまの存在が彼女の中でいかに急速に育まれていったかがわかる。それだけ彼女はあげだまに依拠していたのだ。ただし、それは彼女の自主性を奪うものではない。あげだまの呼びかけはあったが、扉を開いたのは他ならぬ彼女自身なのだ。そして、その扉の先に[illegible]らたな地平が[illegible]





▲2、彼女はジャンケンが強い



▲1、彼女は笑い上戸である！





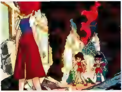
▲5、そして彼女は、恐るべき伝説の金魚すくい名人でもある！

▲4、彼女は魔球が投げられる！

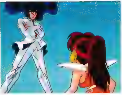
▲3、彼女は廃紙交換が好き！

▼突然だが、最後の敵・イーハブとの戦いである！

▼「麗さん、貴方にはすくえないわ」彼女の、この自信は、一体どこから？







◀小学生美少女戦士ワンダーいぶき（仮名）となった彼女は、あげだマンに代わって強大な敵に戦いを挑む！

▶誰に習ったのかは知らないが、彼女は、幼い頃から秘技・金魚返しの使い手だったのだ！

彼女と[illegible]麗による触発がなければ、平凡な、ただの笑い上戸な女の子でありつづけたことだろう。九鬼麗が彼女に反発するのは、庶民、ひいては人類全体のバイタリティを麗に痛感させるからではないだろうか？　人民は愚鈍なものばかりではなく、また、一般大衆のポテンシャルはエリートとは異なる次元で絶大なのではないかという不安をもたらすのだ。実際、いぶきの各種才能は浮き世離れしてはいるが、それは彼女が気合いの戦士としての力を備えていたからにほかならない。財力や権力といったものは、本質的に人間を拘束できるものではなかったのだ。いぶきはそのことを麗に思い知らせた。その意味でいえば、彼女は麗にとってのヒーローだということもできるだろう。彼女の存在がなければ、麗は撃ちのめされはしても、浄化されることはなかったはずだからだ。極限状態で相互関係を作れるものこそ真の友である。とはいえ、それはあくまでも、モデムとイーハブによる地球侵略の排除という共通の目的があったという状況によってもたらされた関係であり、表面上は今後も関係は変化するようには思われない。麗は今後とも尊大で





▲ワンダーいぶき仮名は戦う！



▲彼女はジャンケン笑する！

▼ワンダーいぶき仮名には、キリッとした戦士の顔が似合う

▲彼女は、今日も健全な学生生活を送るために、あげたマンに代わって群がる悪玉におしおきをするのである！

▶見よ！　彼女からみなぎる無限のジャンケンパワーを！





◀一時的に正義に目覚めた怨夜巫女とのコンビもバッチリさっっ



ある[illegible]もまた、つとめて平凡であろうとするだろう。しかし、彼女たちは、自分たちの関係が従来と同じものではないことを知っている。それは、互いにとってとても幸福なことであるはずだ。誰にしても、同級以外にもそれと同等か、あるいはそれ以上の全く違う関係を醸成できることを理解できたはずだから。

結局、いぶきは基本的に受け身のままであげだまとの別離を迎えるが、あげだまとの出会いや怨夜巫女との一連の抗争（？）を経た後ならば、彼女の人生はもっとポジティブに展開するはずだ。また、あげだまのみが彼の世界の従来の規範に従って行動するなどということを承服するはずがない。夏休みだろうと冬休みだろうと異星人だろうと、彼女はあげだまをちり紙交換車のように追いかけるだろう。逆に、あげだまは彼女に見合うだけの〝男〟にならなければならない。これは、彼女を見初めた責任があるのだから当然といえば当然だが、その義務があげだまにはある。また、あげだまが〝ほんとうの〟ヒーローとなるためには、彼女が必要であり、彼女抜きのあげだまはヒーローたり得ない。いぶきに[illegible]

愛と気合いの小学生美少女戦士
ワンダーいぶき（[illegible]）変換!!

[illegible]合成マシーン[illegible]入れられてしまった[illegible]たマウス型[illegible]

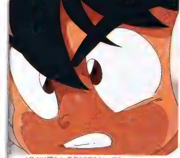




源氏あげだま

ヒーロー星出身気合い部屋所属

古より地球を訪れていた異星のヒーローたちの出身星、ヒーロー星から夏休みを利用して地球に遊びに来た。愛の光と気合いの光を胸に秘め、正義と真実と盛蕎麦町の平和を守るため日夜斗い続けるのだ(笑)。



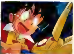
▲アイツが噂のノー天気お元気BOY、源氏あげだマンだ



▲ワープ郎は賢いワープロメカだ



▲入[illegible]



▲あげだマンの強い味方だ！



◀あげだまは、どんなに困った時でも超元気な少年だ！

▼麗の妨害にも屈し・・・な。



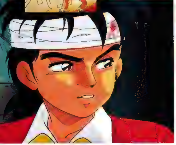


源氏あげだまはヒーローである。それは彼の出自だけに根拠をおくものではなく、物語を通して描かれた彼のキャラクターそのものが十二分に彼のヒーローとしての素養を証明していたからだ。この作品全体が持っていた不可思議なテンションは、基本的に〝あげだま〟という主人公が持っていた「気合い」によってもたらされたことは間違いないが、その元気の良さが、登場人物のほぼ全員に敷衍されているのは特筆すべきことだろう。主役の三人を演じる佐々木望、玉川紗己子、三石琴乃らのハイアベレージな演技はいうまでもなく、ベテラン、新人を巻き込んだ声のスラップスティックは、他の作品にはない活気をもたらしていた。その軽ノリが作品世界を破壊することなく、むしろ有利に働いていたことは間違いない。麗が家出して、あげだまの家に転がり込んだエピソードなど、作画と演出、音



◀とにかく、どんなことでも持ち前の気合で乗り切ってしまう！

▶たび重なる麗の挑発にもめげず、どんな時もいぶきちゃんのことだけは忘れない♪





▶その闘志は、あげだマン[illegible]なっても失われることはない！ 怨夜巫女たちとの連日の戦いもヘッチャラさ！

◀そう、彼は妄想の中でもヒーローなのだ！ 「僕は、もう、ヒーロー星に帰らなければならないんだ！」







▲全国のいぶきファンの諸君 あげだまだけに彼女を独占させていいものだろうか！

◀とにかく彼は、根っから元気、根っからノー天気の、スーパーラッキーヒーローなのだ！

楽と言[illegible]べくもなくジャストミートしていて最強（最狂？）の名作（迷作？）となってファイヤーしていた。ここで描かれる麗といぶきの内面やあげだまの純情さなどは、作品全体における指標とさえなったのではないだろうか。楽しげにチャランポランな行動だけをしているように見えるキャラクターたちが、視聴者と同じように懊悩する様は、単なるギャグアクションではない深みをこの作品に与えていた。ギャグめかして表明されるキャラクターたちの本心は、間違いなく見るものの心を動かしていた。そのバランスは見事としか言いようがなく、作品にかけるスタッフの思い込みを垣間見ることができる。それはもう、執念と呼ぶにも等しいほどの情熱でもって描写されており、一度でもこの作品を見たことのある人が、一発でファンになってしまうのが良く理解できる。スタッフの熱が見るものにも伝染するのだ。これは間違いない。

この作品では、麗やいぶきがクローズアップされることが多いが、彼女たちがキーパースンとしているのは、あくまでもあげだまだったことは見逃せないだろう。多少影が薄かろうとも（笑）。

愛と気合いの光の戦士!!

あげだマン

変身!!



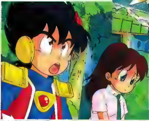






▲見よ！　いま必殺の、あ…

▲…てはけちな…の実力を見せよう



▲えび天の若かりし頃のバトルスーツを着て登場するあげだま



▲出た　宿敵モデムとの戦いだ！　気合全開、怒り心頭、正義のオーラばりばり全開で地球の悪をやっつけろ！



▲これ、やっぱりワープ郎との変換が一番さ



◀あげだマンスーツなんかなくたって、気合一発、必殺のあげだマンキ――ック！

あげだまは、クライマックス近辺で、ようやく一般にいうヒーローとしての本領を発揮した。最終回近辺のエピソードは、涙なしでは見られないほど常道で、エモーションをかもし出していた（色々反則技も噴出していたが）。これは（はなはだ失礼な言い方ではあるが）演出スタッフの芸域の広さをあらわしている。もっとも、初回からのギャグセンスを見ていれば、逆にその能力の高さを知ることはできるのだが、スタッフの苦労を見せないところがギャグものの要諦であるから、それはことさらにいう必要もないだろう。この作品は、全スタッフによる切磋琢磨で究極にまで磨きあげられた珠玉の宝石である。派手ではないが、持ち主がどうしても手放せない大事な品なのだ。それはファンが一番よく知っている。

ともあれ、心地好い余韻を残してあげだまは地球を去っていった。そこに喪失感はなく、必ず再会できることを確信させてくれるものだった。この歯切れのよさまでが『あげだま』という作品の面白さであ[illegible]だろう。

あげだま設定資料集

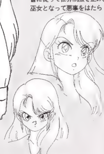


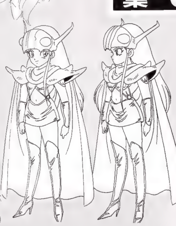
あげだま・メインキャラクター設定集

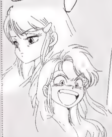
九鬼　麗（怨夜巫女）

九鬼雷蔵の孫娘。傲慢かつ自信過剰な超お嬢様で、あげだま、いぶきのクラスメイト。祖父の雷蔵とともに、ノットリダマスの予言書に従って世界制服を企み、怨夜巫女となって悪事をはたらく。







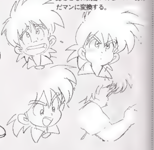


あげだま設定資料集

源氏あげだま(あげたマン)

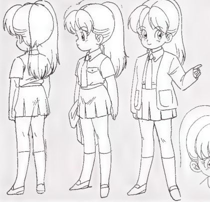
夏休みを利用して、ヒーロー星から地球にやってきた少年。怨夜巫女とノットリダマスII世の野望を打ち砕くために、相棒のワープ郎とともに気合いのヒーローあげだマンに変換する。





平家いぶき

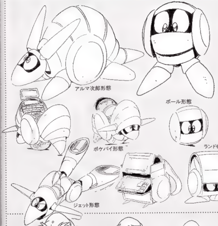
あげだまの同級生でガールフレンド。成績よし、器量よし、スポーツ万能の女の子で、なにかにつけて麗がライバル心を燃やしている存在。正義のヒーローあげだマンに憧れている。

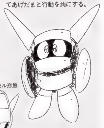




ワープ郎

あげだまの両親があげだまに持たせた超ワープロロボット。世間に疎いあげだまのお守り役兼けんか友達。あげだまをあげだマンに変換させたり、様々な形に変形してあげだまと行動を共にする。



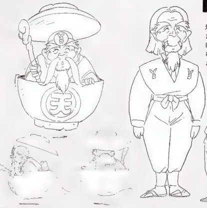


九鬼雷蔵(ノットリダマス11世)

九鬼コンツェルンの総師。九鬼家に伝わる秘伝書「ノットリダマスの大予言」を解読し、世界征服の野望を企てる元気な老人。ノットリダマス11世を名乗り、合成獣を使って盛嶺麦市を騒がせる。

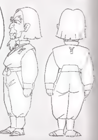


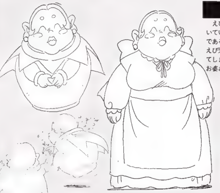




えび天

「お化け屋敷」に古くから住み着いていた神様。かつては、あげだまのように地球の平和を守る正義のヒーローであった。のんきでひょうきんな性格で、あげだまのお爺さん的存在である。



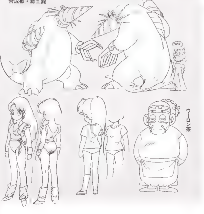


おかめ

えび天同様お化け屋敷に住み着いている神様。普段は温和な性格であるが、ひとたび怒り出すと、えび天さえも頭があがらなくなってしまう。あげだまとワープ郎のお婆さん的存在。







第1話「気合の光だ あげだマン」

スタッフ

脚本／山田隆司
絵コンテ／なみきまさと
演出／なみきまさと
作画監督／辻　初樹

ストーリー

宇宙から元気ＢＯＹがやってきた! その名は源氏あげだま。じっちゃんのえび天とばっちゃんのおかめか暮す盛蕎麦市の古びた洋館に住み着いた彼は、翌日から地球人を装って盛蕎麦東小へ通い、小学生生活をエンジョイし始める。ところが盛蕎麦市では、家宝である「ノットリダマスの大予言」を解読して大富豪となった久鬼雷蔵が、ノットリダマスII世を名乗り世界征服を企んでいたのだ。

第2話「ご町内は グ〜ラグラ」

スタッフ

脚本／早川　正
絵コンテ／桜井弘明
演出／桜井弘明
作画監督／辻　初樹

ストーリー

ノットリダマスII世の孫娘である怨夜巫女こと久鬼　麗は、自分の意のままにならない同級生のあげだまの存在が邪魔でしょうがない。そんな時、盛蕎麦東小でマラソン大会が催されることになり、何事にも一番でなければ気がすまない麗は、祖父の作った合成獣を悪用してあげだまたちの妨害を図った。

合成獣・鯰土竜(なまずしぐら)の攻撃によって危機に陥いるあげだまであったが——

あげだま設定資料集

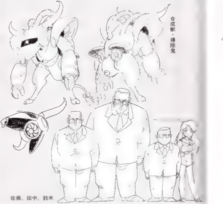
第3話 「叩けばホコリの悪巧み」

スタッフ

脚本／海老沼三郎
絵コンテ／日色如夏
演出／日色如夏
作画監督／本橋秀之

ストーリー

ノットリダマスの予言書にあった「誇り」を「埃」と勘違いした雷蔵は、世界征服のためには大量の埃が必要であると思い込み、埃を集める合成獣・掃除鬼を作り出した。そして佐藤・田中・鈴木ら執事たち三人を塵紙交換屋に変装させ、埃だらけの廃品を回収させ始める。その交換率の良さが主婦たちの間て大評判となり、ガールフレンドのいぶきまでが殺到するのを見たあげだまは――



第4話 「雀犬ポンは殺しの番号」

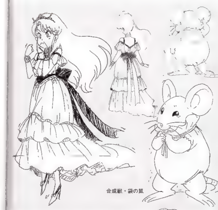
スタッフ

脚本／柳川　茂
絵コンテ／酒井伸次
演出／酒井伸次
作画監督／小西洋子
沢田正人

ストーリー

予言書の一説から「ジャンケンの強い者が世界を征する」という意味を読み取った雷蔵は、合成獣・雀犬を作り出した。ところがなぜかこの合成獣はジャンケンに弱く、世界を征することなどできそうになかった。ジャンケンの強い者からエネルギーを奪おうと、麗は盛蕎麦東小で生徒を集めてジャンケン大会を行なう。その時、あげだまは、なぜかいぶきの様子がおかしいことに気づいた。





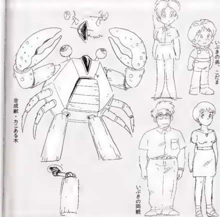
第5話「いぶきに清き一票を」

スタッフ

脚本／柳川　茂
絵コンテ／矢吹　丈
演出／小村としあき
作画監督／梶浦紳一郎

ストーリー

盛蕎麦東小の生徒会長を選び直す時期がやってきた。いままで当然のように会長を続けてきた麗だったが、あげだまがいぶきを推薦したことによってあらためて選挙が行なわれることになりプライドを傷つけられてしまう。さらに、大げさな買収戦術が裏目に出て不利な立場に追い込まれた麗は、雷蔵が予言書を解読して作っておいた合成獣・袋の鼠で選挙そのものをぶち壊そうとする。



第6話「カニ歩きだカニカニ」

スタッフ

脚本／海老沼三郎
絵コンテ／桜井弘明
演出／関むさし
作画監督／小西洋子

ストーリー

予言書の一説を解読し、人々を普通に歩けないようにすれば世界征服できると信じた雷蔵は、横歩きしかできない身体にしてしまう特殊能力を持った合成獣・カニある木を作り出し、盛蕎麦市の人々を襲わせる。一方、体育の時間に自分より目立っていたいぶきに嫉妬した麗は、カニある木を使って彼女に嫌がらせをすることを思い立つ。そうとは知らぬいぶきは図書館へと出かけるが——

あげだま設定資料集

第7話 「御町内ダンスパニック」

スタッフ

脚本／早川　正
絵コンテ／藤森一馬
演出／松井仁之
作画監督／田中　良

ストーリー

いぶきが日本舞踊を習っていると知った麗は、彼女と自分の優劣を決するため、翌日に突然ダンスコンテストを開催すると言い出した。その態度にカチンときたあげだまは、麗の口車に乗せられ、いぶきの代わりに自分がコンテストに出場することを約束する。この話を聞いた雷蔵は、予言書にあった「王を讃える踊り」を巷に流行らせるため、合成獣・お祭マンボをコンテストに派遣する。



第8話 「本音はこわい！大嫌い」

スタッフ

脚本／山田隆司
絵コンテ／桜井弘明
演出／桜井弘明
作画監督／鳥居愛緒

ストーリー

予言書の一説を解読し、建て前を奪うことによって人々を仲違いさせようと企んだ雷蔵は、建て前を吸い取る合成獣・蜻磁木を作り出した。怨夜巫女となった麗は蜻磁木を連れ、町中の人々をパニックに陥れ始める。いぶきとの楽しいデート中に事件に巻き込まれたあげだまは、不可抗力でいぶきの唇を奪ってしまい、彼女に逃げられてしまった。翌日、麗は学校に蜻磁木を連れてくるが――





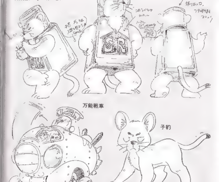
第9話「燃えよ! ケンサク」

スタッフ

脚本／柳川　茂
絵コンテ／日色如夏
演出／日色如夏
作画監督／本橋秀之

ストーリー

あげだまの担任で熱血青春教師のケンサク先生は、同僚のヒトミ先生が好きであった。あげだまは二人の仲を取り持とうとし、ヒトミ先生もケンサク先生が好きなのだが、ある要素が足りないために不満を感じていることを突き止める。そのころ、独身男性を悪魔に変えれば世界征服ができると思い込んだ雷蔵は、合成獣・アー熊を作り出し、次々と町の独身男性の心を悪魔に変えていった。



第10話「ハクション大迷惑」

スタッフ

脚本／海老沼三郎
絵コンテ／酒井紳次
演出／酒井紳次
作画監督／小西洋子

ストーリー

ノットリダマスの予言書を解読し、町中の胡椒を集めて空中で爆発させ大ハクションを巻き起こせば世界を征服できると信じた雷蔵は、早速合成獣・子ショービンを作り出した。その計画を知った麗は、給食の時間に胡椒をばらまき食事を台無しにしたあげだまに復讐をするため、怨夜巫女となって町中を奔走する。馴染みのラーメン屋に胡椒がないと嘆くケンサク先生を見たあげだまは――

あげだま設定資料集

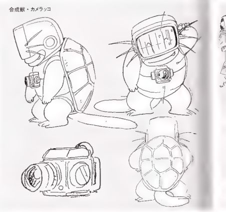
第11話「過激に特ダネ合戦」

スタッフ

脚本／富田祐弘
絵コンテ／関木菜織
演出／東　森一
作画監督／沢田正人

ストーリー

ノットリダマスの予言書を解読し敵の弱点を知れば世界征服も容易になると考えた雷蔵は、合成獣・カメラッコを作り出した。一方、いぶきたちの作った校内新聞の評判が良いことに不服な麗は、カメラッコを用いて皆の秘密を暴き、それを自分の作った新聞に載せて人気を集め始めた。だが、人目を気にしない性格のあげだまだけは弱点が写らない。麗は、いぶきに次の狙いをつける。



第12話「桜吹雪がお見通し」

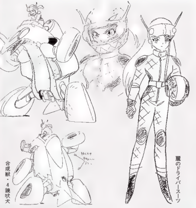
スタッフ

脚本／柳川　茂
絵コンテ／矢吹　丈
演出／矢吹　丈
作画監督／小西洋子

ストーリー

予言書の一説から、悪人をひいきにした裁判を行なえば世界を征服できると考えた雷蔵は、合成獣・サイ判官（遠山金庫郎）を作り、正しい者を悪人に変える裁判を行ない始めた。いぶきも金庫に入れられ、不良少女と化してしまう。だが、いぶきを巡ってワープ郎と仲違いしていたあげだまは、彼の協力が得られず、怨夜巫女との戦いに苦戦を強いられるハメになる。





第13話「F1盛蕎麦グランプリ」

スタッフ

脚本／山田隆司
絵コンテ／松井仁之
演出／松井仁之
作画監督／田中　良

ストーリー

盛蕎麦市以外で自分の名前が全然知られていないことにショックを受けた麗は、有名になりたいと雷蔵に泣きつく。予言書の記述からＦＩドライバーであるセナをレースで破れば有名になれると考えた雷蔵は、盛蕎麦市でＦＩグランプリを開催し、車型の合成獣・四鏡吠犬に怨夜巫女を乗せて出場させることを思いつく。セナのファンのあげだまとおかめはレースの開催に大喜びするが——



第14話「学芸会はハレヒレホ」

スタッフ

脚本／海老沼三郎
絵コンテ／桜井弘明
演出／関むさし
作画監督／小西洋子

ストーリー

盛蕎麦東小の学芸会で、あげだまのクラス４年３組の出し物はシンデレラに決まった。しかしシンデレラ役の麗は、いぶきばかりもてはやされるのに腹を立て、綺麗な服が着たいと言って無理矢理いぶきと役を交代してしまった。さらには、自分が主人公となるため雷蔵が作り出した黒子合成獣・見えぬクモを利用して劇の内容を変更しようと目論む。が、学芸会の当日、正体がバレて——

第15話 「新親衛隊長あげだま」

スタッフ

脚本／柳川　茂
絵コンテ／桜井弘明
演出／桜井弘明
作画監督／本橋秀之

ストーリー

予言書の一説から、人々の立場を入れ替えて社会を乱せば世界征服が可能だと解釈した雷蔵は、合成獣・縁の下の力餅を作り出した。だが、学校に侵入した力餅は、間違えて麗とツリバンたち親衛隊の立場を入れ替えてしまう。ツリバンたちにイジメられる麗。それを見るに見かねたいぶきは、あげだまに麗の親衛隊をするよう説得する。イヤイヤながらも引き受けるあげだまだったが——



麗のマスク

第16話 「スイスイす一取る墨巣」

スタッフ

脚本／鶴田　寛
絵コンテ／日色如夏
演出／日色如夏
作画監督／小西洋子

ストーリー

予言書の一説にあった「すを奪う」の意味がわからず悩む雷蔵に、麗は、とにかく「す」のつく物を奪ってみては、と進言する。完成した合成獣・墨巣を連れて夜の町を徘徊する怨夜巫女。やがて墨巣はスケート場を破壊しようとするが、スケートが苦手なあげだまを馬鹿にできなくなるため、麗はそれを止めさせようとする。しかし出現したあげだマンもスケートが苦手だと悟った彼女は——



合成獣・墨巣





第17話「まぶしすぎるぜ光君」

スタッフ

脚本／柳川 茂
絵コンテ／酒井伸次
演出／酒井伸次
作画監督／河合静男

ストーリー

あげだマンを倒す最強の戦士を作り出すため、予言書の指示に従い、優れた運動選手のエキスを吸い取る合成獣・エキスパンダを作る雷蔵。一方、あげだまは、緑山学院の天才陸上少年・夢小路光がいぶきと親しげに話すところを目撃し、ショックを受けていた。ところが、いぶきがあげだマンのファンであることを知った光は、得意の陸上競技であげだマンに挑戦しようとする。

第18話「麗は横綱でゴンス」

スタッフ

脚本／山田隆司
絵コンテ／小村としあき
演出／小村としあき
作画監督／小西洋子

ストーリー

世間で大人気の関取兄弟の若貴を知らなかったがために、学校で大恥をかいてしまった麗。これも若貴兄弟に人気があるからだと逆恨みした麗は、雷蔵をそそのかして適当な予言詩を見つけさせ、合成獣で二人をやっつける作戦を立てる。ところが誤って合成マシーンに自分が入り、合成獣・ドス鯉と化してしまった。とにかくドス鯉を成長させるため、雷蔵は町内相撲大会を開催する――

第19話「君の瞳にクラクラ」

スタッフ

脚本／海老沼三郎
絵コンテ／なみきまさと
演出／なみきまさと
作画監督／沢田正人

ストーリー

雷蔵は、盛蕎麦市の名家の子息である夢小路家光と自分の孫の麗をなんとかして婚約させたいと思っていた。折も折、いぶきのことが忘れられない光は、テレビで人気のお見合いゲーム「トントン紅クラゲ団」を盛蕎麦東小と緑山学院との間で行なおうと持ちかけてきた。これを好機と見た雷蔵は、縁結びの能力を持つ合成獣・紅クラゲを作り出す。だが、麗のプライドがそれを許さなかった。



第20話「夢の一戸建十万円」

スタッフ

脚本／柳川　茂
絵コンテ／桜井弘明
演出／東　森一
作画監督／小西洋子

ストーリー

自分の家を欲しがる庶民に狙いを定めた雷蔵は、予言書の一説から人々を家の中に閉じ込める作戦を考案し、合成獣・マイマイホームに家を作らせ始めた。ツリバンの父が経営する不動産会社にも告知を出したが、ちょうどその時、物件を探しに来たいぶきの父親が話に飛びついてくる。翌日、いぶきが学校にこないのを怪しんだあげだまはツリバンを問い詰めるが、父を信じるツリバンは――





合成獣・妻用事

合成獣・ボーガイ



第21話
「女は元気で外がイイ!?」

スタッフ

脚本／柳川　茂
絵コンテ／松井仁之
演出／松井仁之
作画監督／田中　良

ストーリー

久鬼コンツェルンの仕事で世界中を飛び回っている母親に半年ぶりで会えることになり、うきうきする麗。しかし母は臨時の仕事で来てくれなかった。雷蔵が解読した予言「妻が用事で忙しくなれば社会が混乱する」という一説を聞いて、世界中の妻が働き出せば自分の母親が帰ってくると考えた麗は、合成獣・妻用事を連れて盛藩麦市中の主婦を襲い始める。やがて麗に「母帰る」の連絡が――

第22話
「クイズ、クイズクイズ」

スタッフ

脚本／海老沼三郎
絵コンテ／日色如夏
演出／日色如夏
作画監督／玉川達文

ストーリー

テストがいぶきと同じ点数であることに我慢がならない麗は、なんとかして自分の方が優秀であることを皆に認めさせたかった。そこで、テレビで人気のクイズ番組を買い取り、そこで優勝しようと考えた。しかし一問目から脱落しそうになったのを見かね、雷蔵がボディガードとして作っておいた妨害合成獣・ボーガイが麗を助けてしまう。明からさまな不正に頭に来たあげだまは――

あげだま設定資料集

第23話「タイム虎ペラーすべる」

スタッフ

脚本／山田隆司
絵コンテ／桜井弘明
演出／桜井弘明
作画監督／小西洋子

ストーリー

雷蔵が大事にしていた壺を割ってしまった麗は、時間そのものを戻して壺を守ろうと考え、時間に関係のある予言を探した。ところが雷蔵に見つかってしまい、困った麗は、あげだマンを倒すためにあげだマンの現われる前の時間に戻ろうとした、と咄嗟に嘘をつく。早速雷蔵は合成獣・タイム虎ペラーを作り出したが、時間移動に失敗しているうちに10分しか移動できなくなってしまう。



合成獣・タイム虎ペラー

第24話「笑い取っチャウチャウ」

スタッフ

脚本／柳川　茂
絵コンテ／酒井伸次
演出／酒井伸次
作画監督／本橋秀之

ストーリー

予言書の一説から、笑わない者を征服するのは容易いと判断した雷蔵は、人々から笑いを奪う計画を立てる。家業を継いでほしいという話を郷里の父から受けていた執事の鈴木は、今回の仕事がうまくいかなかったら実家へ帰る覚悟を決め、自分から志願して合成獣・笑い取っチャウチャウとなった。一方、町内お笑い大会に出場しようとしたあげだまは夢小路光と組むハメになり——


合成獣・笑い取っチャウチャウ



合成獣・グルメ舌鼓

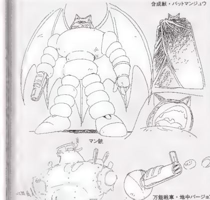
第25話「うまけりゃポンポコ」

スタッフ

脚本／海老沼三郎
絵コンテ／小村としあき
演出／小村としあき
作画監督／小西洋子

ストーリー

ケンサク先生の馴染みのラーメン屋であるガンコ亭が雑誌で紹介されて大繁盛。だが味は落ちるばかり。ところが男性客の目当てが店を手伝っているいぶきだと聞いて対抗意識を燃やした麗は、ラーメンによる世界征服を狙って雷蔵が作った合成獣・グルメ舌鼓で帝王ラーメンを作り、ガンコ亭にグルメ勝負を挑んできた。苦戦するあげだま。その時、目覚めたガンコ亭の主人が立ち上がり——



合成獣・バットマンジュウ

マン鉄

万能戦車・地中バージョン

第26話「指名手配!? あげたマン」

スタッフ

脚本／柳川　茂
絵コンテ／辻　初樹
演出／辻　初樹
　　　なみきまさと
作画監督／沢田正人

ストーリー

予言書の一説から、あげだマンがヨウジで金庫破りをすれば人気が落ちると考えた雷蔵は、偽あげだマンを作り出す合成獣・バットマンジュウを作った。町に溢れる偽あげだマン。あげだマンを信じるいぶきの弟こだまは、あげだマン2号となって事件を解決すべく、怨夜巫女が襲撃を予告した銀行へと向かった。落ち込んでいたあげだまは、それを聞いて立ち直り、急いで現場へ向かう。

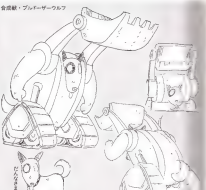
第27話 「ここ掘れ、いぶき」

スタッフ

脚本／海老沼三郎
絵コンテ／松井仁之
演出／松井仁之
作画監督／田中　良

ストーリー

社会の授業中、恐竜の化石らしい骨を掘り出して有頂点になるいぶきに、自分ならまるごと掘り出して見せると豪語する麗。予言書の一説にある地下に眠る黄金の山を掘り出すために用意した合成獣・ブルドーザーウルフを持ち出して空き地に向かうが、この合成獣は狼ではなく田中が拾ってきたただの野良犬だったため、「お手」や「お回り」の言葉に反応してしまい——



第28話 「ファンクラブを作ろう」

スタッフ

脚本／山田隆司
絵コンテ／桜井弘明
演出／東　森一
作画監督／小西洋子

ストーリー

いぶきを中心とした女の子たちが中心になってあげだマンのファンクラブが結成された。それを非難して反対に罵倒され、怨夜巫女のファンクラブを作り、いぶきに対抗する麗。ところが当然のように人気はない。そこで雷蔵は、孫娘のために都合のいい予言を探し出し、夢小路光を使ってハンサムな合成獣・ブラハンマンを作り出してあげだマンの人気を落とそうと計画する。





合成獣・茄子鎌馬

第29話「麗とあげだま同棲中!?」

スタッフ

脚本／鶴田　寛
絵コンテ／日色如夏
演出／日色如夏
作画監督／玉川達文

ストーリー

母親の卵焼きを食べたことのない麗は、うっかりそれを口にした雷蔵に反発し家を飛び出してしまう。町を彷徨ううちに仕方なくあげだまの家に泊まり込んだ麗だったが、そこへ電話をかけてきたいぶきに意地悪な応対をしたために、あげだまがすっかり誤解されてしまった。一方、麗を呼び戻そうと必死に予言書を調べた雷蔵は、自ら合成獣・茄子鎌馬となって町の人間を襲い始めた。



合成獣・目ラブ湯一

平家やまぶき

第30話「ロマンスチャチャチャ」

スタッフ

脚本／柳川　茂
絵コンテ／桜井弘明
演出／桜井弘明
作画監督／小西洋子

ストーリー

風邪で倒れた雷蔵は死んだ妻キクの夢を見て人恋しい気分になってしまった。そこへキクそっくりの平家やまぶきとの見合い話が持ち上がるが、彼女がいぶきの親戚であることを知った麗は猛反対する。再婚相手は自分で探すとばかり合成獣・目ラブ湯一を作り出し独身女性を次々と襲い始めたが、やまぶきのことが忘れられない雷蔵は、麗が連れてきた女性をすべて追い返してしまった。

第31話「合成獣が出ない日」

スタッフ

脚本／山田隆司
絵コンテ／酒井伸次
演出／酒井伸次
作画監督／本橋秀之

ストーリー

ファンからのプレゼントに浮かれるあげだまとケンカして、ワープ郎は家出してしまった。ところが充電し忘れて行き倒れになってしまい、いぶきのパパに拾われて彼女の家にやっかいになる。ワープ郎が欲しくてたまらない麗は、雷蔵が予言書によってワープ郎を必要としていることを知り、マンションの大家に言いつけて彼をいぶきの家にいられなくしてしまい、誘拐した

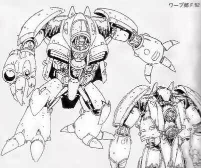
第32話「嗤うハイパー怨夜巫女」

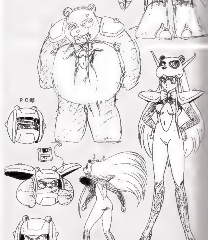
スタッフ

脚本／海老沼三郎
絵コンテ／小村としあき
演出／小村としあき
作画監督／小西洋子

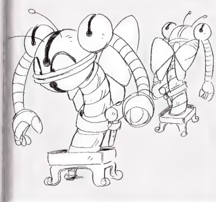
ストーリー

雷蔵は麗のために、麗の大事にしていたパンダのぬいぐるみをもとにＰＣ郎を作り出した。だが、口答えはするは態度はデカいはで、麗はちっとも面白くない。縁日の金魚すくいでいぶきに負けた麗は彼女に勝とうとして怨夜巫女になるが、ＰＣ郎と合体すればハイパー怨夜巫女になれると雷蔵から聞いて、渋々ながらも彼とハイパー変換をする。ところが主導権はＰＣ郎側にあるため──





合成獣・蝶鈴台



第33話「雷蔵の、儂について来い」

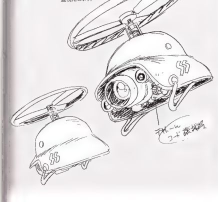
スタッフ

脚本／柳川　茂
絵コンテ／松井仁之
演出／松井仁之
作画監督／田中　良

ストーリー

理事長として盛橋麦東小を視察にやってきた雷蔵は、生徒と教師の馴れ合いを嘆き、教育改革を宣言して自ら校長に就任した。そして予言書の一説を用い、二宮金次郎のように生徒に薪を背負わせて授業を行なわせる。だが、あげだまたちの反抗により作戦は失敗に終わった。雷蔵は、人間を銅像に変える合成獣・蝶鈴台を作り出し、反抗する者を次々と襲わせる作戦を思いつく。

監視用ロボット



第34話「ワテが教師だす」

スタッフ

脚本／柳川　茂
絵コンテ／なみきまさと
演出／なみきまさと
作画監督／小西洋子

ストーリー

再び盛蕎麦東小の教育改革を推し進めようとする雷蔵は、予言に従い完璧な教師を作り出すべくケンサク先生らを教育しようとする。あまりのスパルタに先生らは全員リタイヤしてしまうが、完璧な教師は機械であると気づき、今度はＰＣ郎を学校に送り込んだ。彼のやり方に納得のいかないあげだまは自信喪失中のケンサクに奮起を求めにいくが、ワープ郎が敵の手に墜ちてしまい――

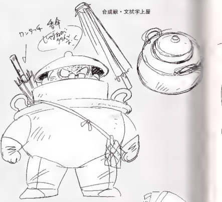
第35話
「読み書きはダメよ」

スタッフ

脚本／鶴田 寛
絵コンテ／東 森一
演出／東 森一
作画監督／沢田正人

ストーリー

懲りずに教育改革を推し進めようとする雷蔵。生徒たちの書く汚い字に辟易した彼は、予言に従って文字の読み書きを廃止することにした。テストも宿題もしないですむと考えたあげだまは大喜び。ケンサク先生も新しい教育の理想に燃え始める。だが、生徒の母親たちが子供の学力が落ちると抗議してきたため、雷蔵は合成獣・文拭字上屋を作って反対運動をやめさせようとする。



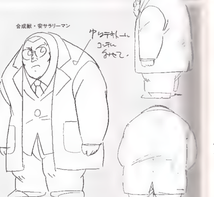
第36話
「サラリーマン吠える!」

スタッフ

脚本／山田隆司
絵コンテ／桜井弘明
演出／桜井弘明
作画監督／音地正行

ストーリー

久鬼家の執事、田中・佐藤・鈴木は今日もワガママな雷蔵と麗にこき使われる。あげだマンに勝てず落ち込む雷蔵を見て今日は合成獣にならずにすむと安堵したのも束の間、PC郎が三人をまとめて合成マシーンに入れ、合成獣・安サラリーマンにしてしまった。この、いかにも頼りなさそうな合成獣に、雷蔵は仕方なくあげだマンとの戦闘を命令するのだが──





合成獣・災いアリ

第37話
「クッキーはつむじ風」

スタッフ

脚本／海老沼三郎
絵コンテ／酒井伸次
演出／酒井伸次
作画監督／玉川達文

ストーリー

人生の儚さを痛感した雷蔵は、突如自分の墓を作ろうと思い立った。予言書に従って設計図を引き、墓守りの合成獣・災いアリを作り出す。ところが、執事の佐藤の失態から麗が行方不明になり、彼女が家出したと勘違いした雷蔵は、自分が死んだことにして家に戻そうと考えた。そのころ当の麗は、頭を打ったショックで記憶を失い、あげだまの家に居候していた。



合成獣・霊コン

第38話
「御先祖様はお見通し」

スタッフ

脚本／柳川　茂
絵コンテ／こむらとしあき
演出／こむらとしあき
作画監督／寺野沢麗子

ストーリー

いままでの作戦の失敗は予言書の内容がすべてデタラメだったからだと結論づけたＰＣ郎は、霊媒師に御先祖様のノットリダマスＩ世を呼び出させ、本人から直接予言を聞き出そうとする。その予言に従って合成獣・霊コンを作り、麗を抱き込んで、雷蔵に黙って作戦を実行するＰＣ郎。雷蔵を裏切っているのではないかという思いに悩まされる麗。ところが、今回の事件の顛末は実は――

第39話「お金が欲し～いッ」

スタッフ

脚本／海老沼三郎
絵コンテ／松井仁之
演出／松井仁之
作画監督／田中　良

ストーリー

予言書の中に「王たる者は倹約すべし」という一説が書かれていた。麗と三人の執事たちの贅沢に頭にきた雷蔵は、彼らの小遣いと給料をカットし、さらに合成獣・マル鵜の男を作って厳重に監視させる。たちまち一文無しになる麗たち。だが、麗にはどうしても必要なお金があった。プライドを捨てた彼女は、意を決してガンコ亭でアルバイトを始める。しかし、そこにマル鵜の男が――

合成獣・マル鵜



第40話「誰が未完の大器やねん」

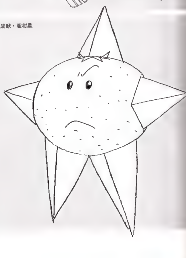
スタッフ

脚本／柳川　茂
絵コンテ／関木菜織
演出／関木菜織
作画監督／本橋秀之

ストーリー

執事の鈴木がお見合いをすることになった。しかしウソばかり履歴書に書いたため、破談は必至。そこで雷蔵たちが旅行している隙に予言書を持ち出し、手柄を立てて取り立ててもらう作戦を練った田中は、彼らを脅すＰＣ郎をリーダーにして合成獣・蜜柑星（みかんせい）を作った。なんでも未完成にしてしまう合成獣によってやる気を失うあげだマン。しかし、彼らの計画は雷蔵にバレてしまった。

合成獣・蜜柑星





第41話 「おヌシもワルよのう」

スタッフ

脚本／海老沼三郎
絵コンテ／桜井弘明
演出／桜井弘明
作画監督／音地正行

ストーリー

テレビの時代劇に触発され、予言書に従い、自分も盛葡麦市の平和を守ろうとお忍び視察を行なう霊蔵。ところが町は平和すぎて自分の退治する悪人がいない。そこでPC郎に合成獣・大印鑑を作らせ、大規模な悪事を行なわせようとする。いつものように私欲に走った麗の悪知恵により、大印鑑は、原田不動産の社長や校長たちを抱き込み、盛葡麦東小のレジャーランド化を目論んだ。



第42話 「南の島で夏休み」

スタッフ

脚本／山田隆司
絵コンテ／なみきまさと
演出／なみきまさと
作画監督／寺野沢麗子

ストーリー

後継者を育成せよという予言に従い、無人島をレジャーランドに改造して麗に支配させようとする霊蔵。そうとは知らぬあげだまたち4年3組一行は、無料招待の餌につられて島へとやってきた。女王を称する麗のワガママぶりに呆れ、あげだまとケンサク先生らは海岸で自給自足の生活を始める。頭にきた麗は怒夜巫女となり、合成獣・アドリブヒトラーで彼らを攻撃し始めた。

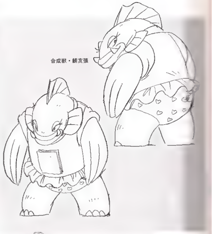
第43話
「私を女王様とお呼び!」

スタッフ

脚本／山田隆司
絵コンテ／なみきまさと
演出／東　森一
作画監督／沢田正人

ストーリー

麗様アイランドへ向かったきり連絡一つないあげだまの身を心配するえび天とおかめ。島では相変わらず麗があげだまたちを苦しめていた。その傍若無人ぶりに愛想を尽かし、他の生徒たちも次々と麗の下を離れていく。逆恨みした麗は、自ら合成獣・鯖亥貼と化してあげだまたちに復讐を開始した。その時、島へ来てからろくに充電をしていなかったワープ郎が運悪く停止してしまう。



第44話
「君がとっても青いから」

スタッフ

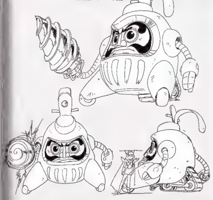
脚本／鶴田　寛
絵コンテ／酒井伸次
演出／酒井伸次
作画監督／小西洋子

ストーリー

夏休みの宿題の自由研究のテーマに困り、雷蔵に泣きつく麗。雷蔵は、宿題に関する予言「青い地球を蘇らせよ」を見つけ、青い地球を蘇らせるには地球を青く染めてしまえばよいと考え、ケンサク先生を使って合成獣・吸青師を作り出す。そのころあげだまは、両親からの手紙で自分の星の夏休みが終わりに近いことを知り、いぶきとの思い出を作るため、彼女の家へと向かうのだが──



合成獣・ダルマ大使



ヘビメタあげだマン　　合成獣・リンゴ蛇



第45話「雷蔵、七転び八起き」

スタッフ

脚本／柳川　茂
絵コンテ／日色如夏
演出／日色如夏
作画監督／本橋秀之

ストーリー

人任せ経営がたたり、突然久鬼コンツェルンが破産した。屋敷は差し押さえられ、麗の周囲からも親衛隊が去ってしまう。故郷の星に帰る日が近づき、皆との思い出を大事にしたいあげだまは、そんな麗が見ていられない。鈴木のアパートに世話になりながらも再起を図る雷蔵。だが、株に手を出して大損した雷蔵は、予言に従い、自ら合成獣・七転び八起きとなって一発逆転を狙った。

第46話「恐怖の大王、現る!」

スタッフ

脚本／海老沼三郎
絵コンテ／小村敏明
演出／小村敏明
作画監督／寺野沢麗子

ストーリー

故郷の星に帰る日が近づき悩むあげだま。その時、盛蕎麦東小の校庭に空から宇宙船が落ちてきた。予言が当たらないと悩んでいた雷蔵は、予言書のとおりに振動が起こったので大喜び。神童を見つけて配下にするべく早速合成獣・リンゴ蛇を作り出した。だが、予言書の読めない部分を解析したＰＣ部は絶句する。一方、盛蕎麦東小では、落下跡から裸の男女が現われ大騒ぎとなっていた。

第47話
「私、じつは怨夜巫女!」

スタッフ

脚本／山田隆司
絵コンテ／松井仁之
演出／松井仁之
作画監督／田中　良

ストーリー

リンゴによって記憶の封印が解かれた男女は、予言に書かれた恐怖の大王、モデムとイーハブの兄妹だった。二人はＰＣ郎から予言書の存在を知ると、予言を利用して麗の誕生パーティーを開催させ、その隙に久鬼家を乗っ取ろうと画策する。何も知らずに合成獣・亀ん武闘員を作り出す雷蔵。一方、いぶきに自分の正体を教えようとあげだマンの姿でパーティーに参加したあげだまは――



第48話
「正義と悪の迷コンビ!?」

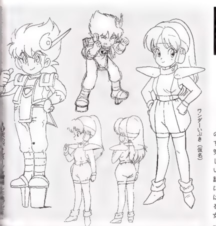
スタッフ

脚本／柳川　茂
絵コンテ／桜井弘明
演出／桜井弘明
作画監督／音地正行

ストーリー

モデムたちに正体がバレてしまったあげだまは、正体をバラした麗と雷蔵を自分の家にかくまう。素直になれない麗とあげだまは事あるごとに言い争うが、巨悪に立ち向かうため渋々協力することにした。それを知ったモデムは、パワーアップさせた合成マシーンでＰＣ郎を合成獣・回竜に変え二人を襲わせる。元ヒーローのえび天とおかめ、そして三人の執事が現われて二人を守るが――





ワンダーいぶき（仮名）

第49話「いぶきちゃん出番です」

スタッフ

脚本／海老沼三郎
絵コンテ／酒井伸次
演出／酒井伸次
作画監督／沢田正人

ストーリー

とうとういぶきちゃんにあげだまの正体が知られてしまった！　狼狽するあげだま。またその時、雷蔵の策略でワープ郎も使用不能になってしまった。さらに悪いことに、新しい超人とあげだマンを戦わせようと、記述の改変された予言がモデムたちによって雷蔵の下へ届けられた。麗は、その新しい超人が「町人」であるいぶきではないかと思いつき、彼女とあげだまを戦わせようとする。



お偉方とその秘書たち

第50話「あげだま絶対絶命」

スタッフ

脚本／柳川　茂
絵コンテ／関木菜織
演出／日色如夏
作画監督／寺野沢麗子

ストーリー

雷蔵のミスで麗の両親が久鬼邸に向かってしまった。これを知ったモデムたちは、彼らを捕らえたと雷蔵たちに伝え、皆を誘い出そうとする。久鬼邸に赴いた麗・あげだま・いぶきたちはＰＣ郎の姦計にはまり絶体絶命の危機に晒されるが、その時、修理を完了したワープ郎が――

ＰＣ郎の見つけた予言詩の「陰に徹する王者」とは誰か？　そして、麗の両親の運命や如何に？

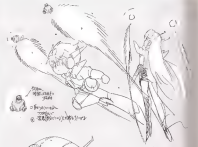
第51話 「宇宙からの贈り物」

スタッフ

脚本／山田隆司
絵コンテ／なみきまさと
演出／なみきまさと
作画監督／小西洋子

ストーリー

変換したあげだマンに一度は破れたものの、そんなことでくたばるモデムたちではなかった。そのころ、空からまたまた宇宙船がやってくる。同級生のウーロン茶そっくりの彼らはスペースパトロール隊員を名乗り、モデムたちを捕まえに来たという。そこへ、当のモデムたちが合体して襲いかかってきた。地球を去る前の最後の決戦に挑むあげだま。しかし、敵の圧倒的なパワーの前に彼の気合パワーが尽きてしまう。その時、奇跡が起こった！





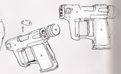
小型機



ジャスミン茶



モデハブ

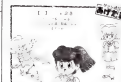


ゲンジ通信あげだま 企画変換の大真実

年間何本も放映されるアニメ作品だが、ご存知のようにその企画は簡単に成立するものではない。ことに難産だった『あげだま』の変遷をお目にかけよう。





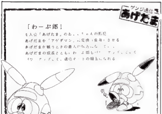


PCエンジン用ゲームソフトとして企画された立案当初の企画書。キャラクターも、あげだまたちが「ひらがな族」怨夜巫女たちが「漢字族」という勢力に二分されている。性格や出自を除いて、メインキャラの概要とネーミングはほぼこの時点で決定している。

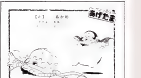


この時期の設定は、ゲームソフトのヒットメーカーとして知られる広井王子、さくまあきら、富田祐弘の三氏が中心となって作成されていた。漢字族が使う怪獣は「漢獣」と呼ばれ、敵の最終ボス・永栄王は世界征服を目論んでいた。(前後の事情は、キングレコードより発売中のCD『メキシカンGOGO』に詳しい)

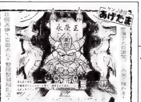
＊「ヘポイ」＝ロープレ英雄伝説ヘポイのこと。「あげだま」の前番組で、メインスポンサーがセガである以外はほとんど同じスタッフによる作品。お城が変形するロボットと猫娘ミーヤがファンの度肝を抜いた。

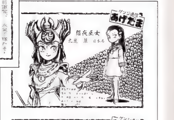




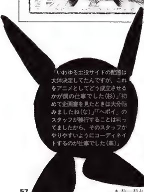


敵方の勢力で当初の企画書から最終的に生き延びているのは怨夜巫女だけだが、逆に、怨夜巫女を核として、本編に登場する雷蔵や鈴木、田中、佐藤が作られたことになる。彼女を典型的なアニメ風誇張型世間知らずお嬢様といえばそれまでだが、このことを事例として怨夜巫女がキャラクタとしていかに強力であったかの証明だというのは強引すぎるだろうか？



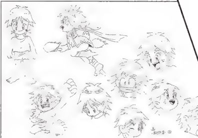






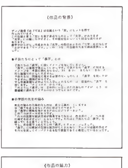
「いわゆる主役サイドの配置は大体決定してたんですが、これをアニメとしてどう成立させるかが僕の仕事でした(杉)」「初めて企画書を見たときは大分悩みましたね(な)」「『ヘボイ』のスタッフが移行することは判ってましたから、そのスタッフがやりやすいようにコーディネイトするのが仕事でした(高)」

＊（杉）＝杉山 豊（ASATSUプロデューサー）（な）＝なみきまさと（監督）（辻）＝辻 初樹（キャラクターデザイン／総作監）（高）＝高橋良輔（演出協力）文中敬称略



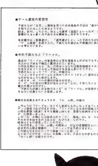


ゲーム展開をメインとした当初の企画書から、テンユウが作成したアニメ用企画書。アニメ番組としてのターゲットの分析や商品展開の可能性などが提案されている。

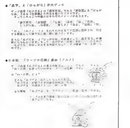

〈作品の背景〉

●子供たちにとって「漢字」とは

●小学校の先生の悩み


●ゲーム感覚の重要性

●今の子供たちと「ワープロ」

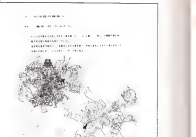

〈作品の魅力〉

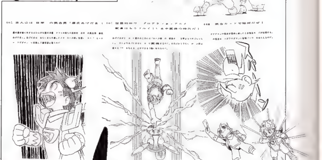
●「漢字」と「ひらがな」が大ゲンカ

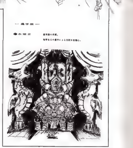
●日本初「ワープロ召喚」漫画（アニメ）

あげだま実行委員会から提示された企画書をもとに、アニメ用企画書が作られた「元々の企画を漫画化したのかＤＸボンボンに掲載された島本さんの作品で、連載も想定していました。アニメ作品としてのヒットを狙えるかどうかが課題でしたから。とにかく元気な作品にしたかったんですよね(杉)」元ネタからアニメに残すものを選別する作業が結構しんどかったです。（な）









当初のゲーム企画からアニメとの連動を考慮して練り直された企画書。基本設定にほとんど変化はないが、主人公のあげだまがアフリカ出身の野性児から日本一の気合い男になり、アクションのアイディアや気合いカード（当然、PCエンジン用ソフトのメディアであるのHuカードのイメージだろう）ワープロ変換などのキーワードが登場している。

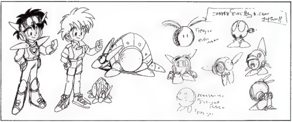
この直後からアニメとして成立させるためのアイディアが案出されていく「放映時期は決定してたんで、とにかくアニメ用のネタになる絵を量産しました　その時の作業量といったら、今でも語り草ですよ（笑）」「彼は扱いやすいキャラクターでした　こちらの思惑以上に作品を掻き回してくれましたからね」
（な）

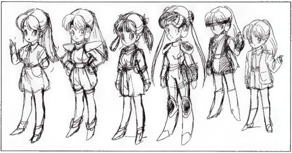


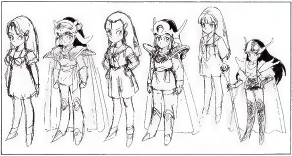


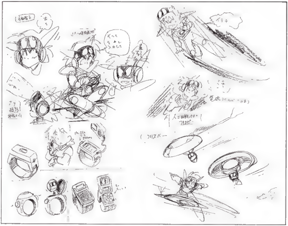
あげだま、いぶき、麗（怨夜巫女）およびワープ郎のアイディアラフ。コスチュームのバリエーションが多く提案されている。ワープ郎の変形ギミックや形態バリエーションもこの時点でほぼ確定している。ことに、いぶきのヘアスタイルは動かしやすさなどを考えて難航したようだ。

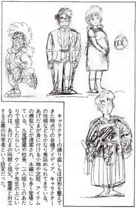
「その前後にやってたことというのは、極端な言い方しちゃうと、アニメがこれでいけるかどうかというＯＫ出してすよね(高)」「色々な意味で感慨深い作品ですね。音楽も美術もハマってたし(杉)」「各話演出の暴走調停やとりまとめで結構苦労しました（笑）声優さんのノリもすごかった。ぜひまたやってみたい作品ですね(な)」話によると、ソフトの成績如何ではＯＶＡの目も…。













キャラクターの練り直しもほぼ形を整えてきた時点での各種アイディア。キャラクターの性格などもかなり煮詰められてきている。あげだまが身に付ける小物や武器、アイテムの機能などが提案され、本編にも多く登場している。九鬼雷蔵や校長、三人組もこのあたりで成立したらしい。ケンサク先生の上にいるのは、あげだまの両親と祖父。雷蔵と対立する正義の科学者という設定だった。

GUEST ILLUST ESSEY

このま和歩 ■WAHO KONOMA

計奈 恵 ■KEI KAZUNA

やすひろ ■YASUHIRO

円 英智 ■HIDETOMO TUBURA

ぶるまほげろー ■BRUMAHOGEROU



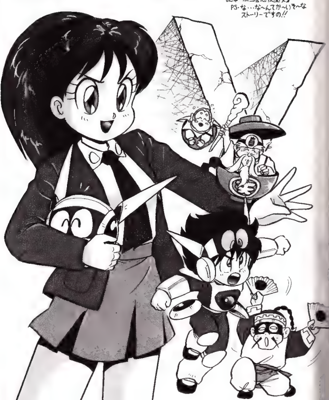

あげだま
無法地帯
by このま和歩
こんなアニメに
誰がした!?

よくわかるビューティホ〜な

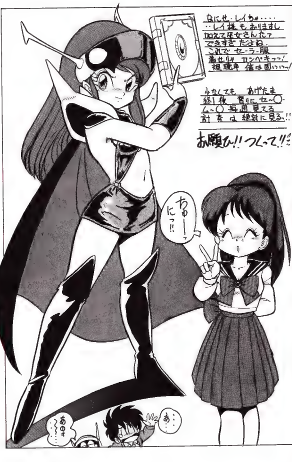
ストーリー展開

☆両親の愛に恵まれずに育った少女『九鬼麗』彼女は仕事ばかりで自分の方を向いてくれない両親をなんとか家に引き戻そうと祖父雷蔵の力を借り涙ぐましい努力の日々を送る・・・・
しかし自分より目立つ存在が気にくわない同じクラスの生徒『平家いぶき』は、宇宙から来た変換怪人『あげだマン』を手なずけ、ことごとく九鬼麗の悲願を打ち砕いていった。
それを見かねた佐藤・鈴木・田中の九鬼邸3執事は、合成マシーンにより自らの体を改造し、平家いぶきの野望に立ち向かって行くのだった。
薄幸の少女九鬼麗に幸せはおとずれるのか？両親の愛を受けるのはいつの日か？今日も少女の悲しみの戦いは続くのだった。 ガンバレ九鬼麗!! 負けるな九鬼麗!!!

記事担当【怨夜巫女】
PS・な・・・な〜んてか〜いそ〜なストーリーですの!!



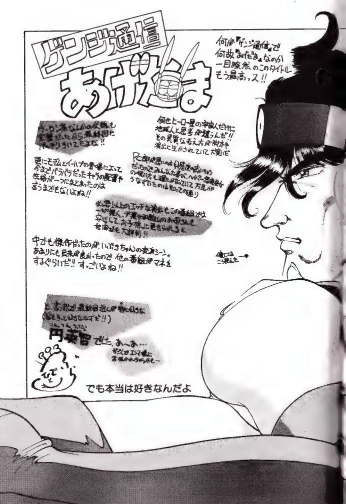

ウけるっ!!
これは絶対にウケますよっ!!!
ねっ ねっ
やりましょうよ!
バンダイ様♡
ギャローップ様方♡!!
ヘイケ通信
ハイパーいぶき
(仮)
計奈 恵
計.け


なにせ・レイちゃ・・・・
・・レイ様もおりますし
加えて巫女さんだァ
できすぎだよね。
これでセーラー服
着せりゃカンペキっっ!
視聴率倍は固いっっ!
少なくても あげたま
終了後 替りにセ〜○-
ム〜○ 毎週見てる
計奈は絶対に見るっ!!
お願ひ!!つくって!!
ちゅーーっ にっ!!
あ・・・
あのォ〜〜・・・


ONYOMiKO
あげだまさん


IBUKI
へそーか それならミンキーモモの方までも え? それもいらない? あ、あげだまの話ね… それならやっぱりこの2人でしょう。あと母ちゃんがいいですよねえ
ところで、セーラームーンは…
ばきぼきどきゃっ!!
いやすが何ともまとまりの無いものになってしまった… けどまあ、あげだまだもんで こんなもんか。
さて、あげだまといえば思いだすのが タイムボカンシリーズだが 中でも僕はイッパツマンが好き
え? その話はいい?!
じゃぁ〜ん けぇ〜ん ……
ふきだしの中は てきとうな言葉を 入れてやって下さいませ




ゲンジ通信
あげだま
何が『ゲンジ通信』で
何故『あげだま』なのか
一目瞭然 のこのタイトル
もう最高っス!!
何せヒーロー星の宇宙人だけに
地球人と思考が違うんだ!!
その異質な考え方が脚本や
演出に生かされていて大変だ
更にモデムとイーハブの登場によって
今までバラバラだったキャラの配置や
性格が一つにまとまったのは
言うまでもないよね!!
中でも傑作だったのが、いぶきちゃんの変身シーン。
あまりにも出来が良かったので 他の番組がマネをするぐらいだ!! すっごいよね!!
俺には こう見えた
でも本当は好きなんだよ


「あげだま」は
やっぱり レイさま
ですねー！ とくに
お気に入りなのは、「クッキー
はつむじ風」のラスト。
クッキーを食べながら ぽろぽ
ろと、涙をこぼす姿には
泣けましたぜー!!

ぷるまほげろー


ゲンジ通信
あげだま
幻の初期設定版コミック
ここに完全収録
島本和彦
（初出：DXボンボン（講談社） 91年3月、4月号掲載分）


第1話
合成獣"キドラ"の巻


天空城（てんくうじょう）
ゴゴゴゴ
ごちそうさま!!


そろそろ時間ですわ
怨夜巫女
いってまいります!!にいさま
まちなさい 巫女
最近学校のようすはどうだ?
あらご心配なく
男子も女子も気合いの入った者はおりませんことよ…
コロコロ…
わたくしのクラスの男子などは もう全員わたしの親衛隊のようなもの
ほ〜〜っほっほっほ!



このぬいぐるみも
このお菓子も
にいさんの食べてるそのくだものだってふぬけた男子がくれたものですわ
ほー!!ほっほっほっほっほっほっ
うむ・・・さすがはわが妹!!
だが気をつけろ
おまえのかよっている学校には「ひらがな族」の神器がかくされている・・・
もしもそいつを使いこなせる者があらわれたら
わが「漢字族」最大の敵をむかえることになるのだ
わかっておりますわうるさいにいさまね!
毎日毎日耳にタコができますわ!!
ふぉー!!ほっほっほっほっほっほ
兄の前でそのえらそうな笑いかたはやめろ巫女



うるさい
ですわ
この笑いは
身分の高い
しるし
なのよ!
たとえ
にいさまでも
とめらせませぬ
たしか
きょう 一人
おまえの
クラスに
転校生が
くるそうだが
……!
さすが
わたしの
にいさま
情報が
おはやい
ですこと
気をつけて
おけ…
あやしい
ようなら
すぐだおす
ことだ…
わかりました
ですわ
「ひらがな族」に
つたわる
神器のエネ
ルギーは
「気合い」
気合いの
入った危険な
転校生ならば
すぐに あたしの
キドラが殺して
ごらんにいれま
しょう!
神器を
見つけだして
こわすだけ
でもいい



いってまいりますわ！
あっ！
麗さま
あっ！
麗さまだ！
麗さま!!
おはようございます
おはようございます
麗さま!!
やったァ！
九鬼麗さまだ！
おはよう山下
いつも元気ね
お
おお！
麗さまァ!!



やったァくっ!!
わくい 麗さまに 音読みで 名まえを よばれた でェ〜く
いいなく 山下く!!
麗さま ぼくも ぼくも くっ
あっ 九鬼麗だわ
また 男子を ひきつれて とくいに なってるわよ
頭に きちゃう わね いぶき!
だいたい 男子も男子よ なさけない
みんな いっつも 九鬼麗に でれくっと してるだけ
もっとバシッ!と 気合いの入った ような男の子って いないのかしら
……
ガラ ガラ
おや みなさん おそろいですわね
おはよう 平家さん いつも 女の子と ごいっしょね
たまには 男の子と でも お話しされたら どうかしら?

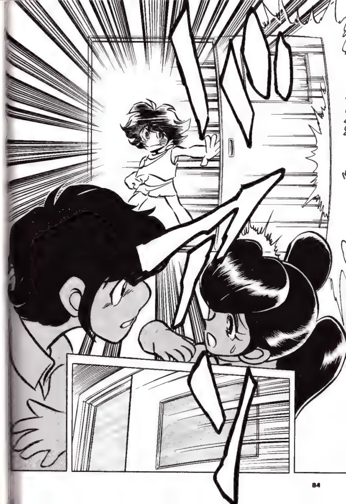


よけいな おせわよ!!
あらら こわい
そんな しゃべりかたじゃ いつまでたっても ボーイフレンドの一人も できません ことよ
ふぉっ ふぉっ ふぉーっ
やめてよ その 笑いかた
ほーっ
ふぉっ ふぉっ
やめてったら ひっぱたく わよ!!
あら おもしろいわね!!
あなたに あたしを ひっぱたけるかしら・・・?
麗さまには 指一本 ふれさせん 平家!
ザザザー!!
麗さまの かわりに おれたちが 相手だ!
くうくっ
男子は関係ない じゃない ひっこん でなさいよっ!!


そうは いかねェ
かよわい 女の子を守るのが 男の義務だ!
あ・・
あたし だって 女の子よ
でも・・・
かよわく ないっ!!
ああっ
いぶき だいじょうぶ?
ひどい わっ! 男子!
ふん 麗さまに さからうやつは みんな そうなるのさ・・
これから 気をつける ことだな!!



麗さま よろしいですか これで
そうね これからも さからって こないように…
しょうしょう 男の手で いためつけて おやり!
ははっ
やめて!! なにするのよ!!
うるさい 麗さまの命令だ
二度と さからえないように してやる




ぴく
ぴくぴくぴく
だれだ あいつ !?
見たことないわ……
すごい気合いの入った戸のあけかた
はあ はあ
はあ はあ
転校生かしら…
転校生!?


なんだ まだ休み時間じゃないか!
はやく つきすぎちまったかな!
で でかい声
しかも あれ ひとりごとだぜ!
人と話すときはどうなるのかしら……
こわい!
ま いいや!!
きちまったもんはしょうがない・・・
やあ!!


やあ　みんな
おいら　きょうから
ここのクラス
メートだ!!
よろし
くうっ!!
よおおうし!!
いっぱつ
自己紹介でも
ぶちかます
かァっ!!



ああっ
つめで
黒板を
ぐわ〜っ
……
だま

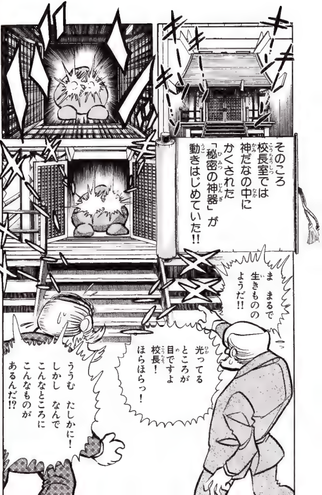


よろ
うおおおおおっ
きゃあ こりもせずに また全力で書いてるわ!!
なんて根性だっ!!
源氏あげ

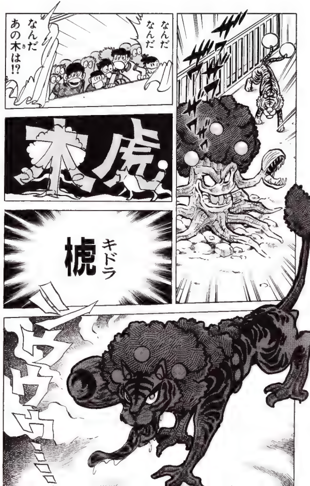

ほ〜〜〜っ
ほっほっほっほ!!
なにかと思ったらやばんな転校生…
負けるものかと大声をだしている
下品で礼儀ってものを知らないようね!!
大声をだせばいいってもんじゃないわ!!
声のでかさで人目をひくなんてのは最低のやりかたですわ!!
くやしかったらあたしのように美しさと気品で勝負することね
できないでしょう



なにを
あせってるの
九鬼麗さん!!
このクラスに
あなたより
インパクトの
ある人が
あらわれたのが
ゆるせない
わけ?
う
うるさいわね
いぶきさんは
このクラスで
いちばん
男らしいかた
ですものね
気のあう
お友だちが
できて よかっ
たわねェ
カチーン
いぶき!
おまえ
男らしい
いぶきか!!
おいら
男らしいの
大好きだ
よろしくな!!
うるさい
わね!!
校長室
おおっ
こ
校長!


キーン
そのころ
校長室では
神だなの中に
かくされた
「秘密の神器」が
動きはじめていた!!
ま まるで
生きものの
ようだ!!
光ってる
ところが
目ですよ
校長!
ほらほらっ!
ううむ たしかに!
しかし なんで
こんなところに
こんなものが
あるんだ!?


なに？
神器が動きだしただと・・・
だとするとやはりきょうの転校生があやしいな!!
巫女しっかりやれよ！
あやしいと思ったらすぐに たたきのめしてやるのだ!!
だれであろうとわれわれ漢字族の敵になりそうなやつはゆるすな
わかってるわ!! にいさま!!
この男の子はぜったいにあやしい!!
いでよ木変人!!
合体せよ!!
虎!!



ザザザザ
なんだ
なんだ
あの木は!?
木虎
キドラ
梍
ウウウウ……



みごとですわ 椃
木変人と虎が合体した合体漢獣!!
逃げるのよ あげだま!!
え…!?
なんでだよ おいら べつに…
あの女は あんたの 命を ねらって いるのよ!!



あの桃とかいうバケモノと戦って勝てるつもり?
なに!?
どうしたの?
はやく!!
おいら女にぜったい勝てないといわれちゃだまっていられない!!
やるだけやってやる!!
まってよあげだま!!
おおっ!?
ひらがな族伝説の神器が動いた!!
みずからあげだまの気合いをもとめて動きだしたのである!!



キーンキーン
ああっ
ひらがな族の神器だわ!
まさか!
まさかなんだ?
この神器は気合いのエネルギーで動くの!
それも超強力な気合いだけ
ふ〜ん・・
キーン
キキキーンーンーン
あげだまあなたの気合いに反応して動いているのよ!!
キ
へっ?

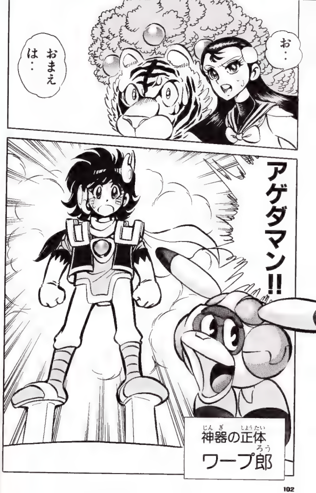

明沙汰奈
破魔矢羅和音
うわあ!!
いま へんな 呪文が 頭の中に!!
きこえるのね 神器の声が!
やっぱり
あなたは ひらがな族 伝説の 「あ段」継承者 なんだわ!
おいらが ?
「あ段」継承者?

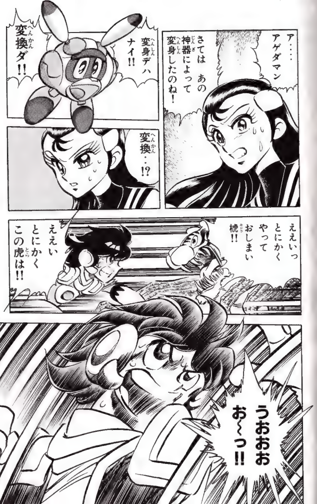


うわっ
虓よ!!
はやく!!
はやく その呪文に答えて!!
あげだま!!
バ
うわっ
ピク
・・・・あ・・・


あかーたれは！
神器が！
ピキッ

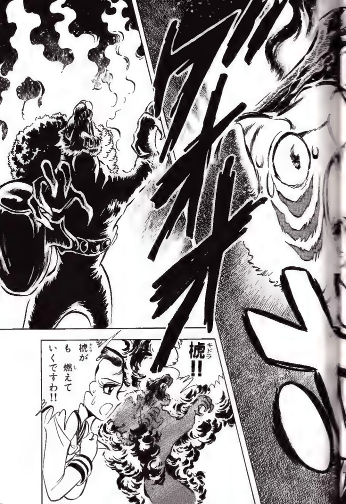

おおっ!!
パアッ
パァァーッ
ムラサキ変換(へんかん)！


お・・
おまえは・・
アゲダマン!!
神器の正体
ワープ郎



ア・・・アゲダマン
さては あの神器によって変身したのね!
変身デハナイ!!
変換ダ!!
変換・・・!?
ええいっ とにかく やっておしまい 桃!!
ええい とにかく この虎は!!
うおおお お〜っ!!


喝
かーつ

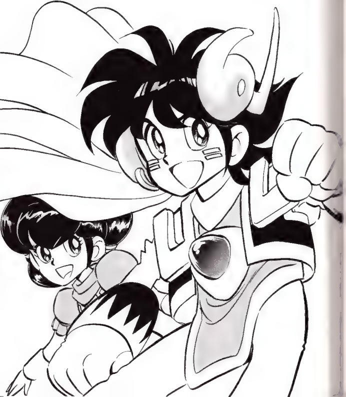

椃!!
椃がも 燃えていくですわ!!


お
おぼえて
らっしゃい
このつぎは
こうは
いかなくてよ
つぎは
かくごする
ことね
……
あっ
あなたの
もだえ苦しむ姿が
目にうかぶ
ようだわ！
あげだま


あたしも
そうなの…
ひらがな族
「い段」継承者
平家いぶき
そして
あげだまは
「あ段」継承者
源氏あげだま！
わたしたちは
仲間なの
これからも
いっしょに
戦いま
しょう！
アゲダマン!!
ガンバロウゼ!!


よオし・・
なんだかよくわかんないけど・・
たよりにされてことわるなんて男じゃないぜ!!
なんだっておいらにまかせときな!!

第2話
合成獣"シュモク"の巻



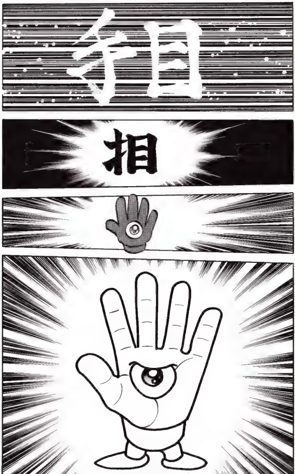


ゴゴゴゴゴゴ
ゴゴゴゴゴ
大審π
大審πよ
日本のあげだまを一刻もはやくしまつするのだ
はっ ここに!



わかっております
しかしやつに勝つためには新しい漢獣が
ふっふっふわしにまかせておけ
最高に強くてカックイーのをつくってやろう
う・・・・・・
永栄王さまがつくられるのか・・・
この方はいつもへんなものばっかしつくるからなァ・・・
いいか
人間の体の中でもっともたいせつなものは目玉と手だ!
この二つを組み合わせて最高最強の合体漢獣をつくる!
わしはまちがっているか!
いえいえまったくそのとおりで
すばらしいお考えです
ようし


どん
手
目
うむ！
いい字だ
練習しているわけでもないのにこのみごとな字！
手目
合体せよ二体の漢字！
名づけて手目(シュモク)!!



扌目
扌目


おおっ
なんと強そうななんとおおしい姿じゃ〜
そうですね
てめ〜
きっきさま
永栄王さまにむかってなんという口のきき方!
てめ〜永栄王さまてめ〜
ここいつまだいうか!!



ガルッ
あっ
ドシャ〜ン！
こうしてくれる！
いて…いてていて〜ぞてめ〜
こっこいつ…
あげだまを抹殺させてほこり高き漢字族の勇者にしてやろうと思ったが…
気にくわんおまえなんか大っきらいだどこへでもでていけ〜
なんじゃいうてみぃ最後にひとことだけきいてやろう
て…
てめ〜
ひ〜ん
そ…そんな永栄王さま…



おまえなんか
つくったのは
大まちがい
だった
二度と
もどって
くるな〜
ポイッ!
あっしは
なんで
こんな体に
生まれたんだ
てめ〜
てめ〜と
いわなければ
しゃべれない
てめ〜
ううっ
こうなったら
手がらをたてる
しかない
てめ〜といっても
ゆるされるくらい
えらくなるんだ
てめ〜〜〜!!
よ〜っし
やるぞ
てめ〜!!
そして
掴は日本へ
むかった!!



では
ここのところ
あげだまくん
読んで
ください
はいっ
あげだま
おさえて
おさえて
先生は
おいらの
「読み」を
もとめて
指名して
くれたんだ
いくら
いぶきの
いうことでも
ちょっと
そいつは
きけないねェ
わかった
わかった
かってに
やって
ちょ〜だいよ
読みますっ
うき
うき
は・・
はい！
なに？
この子
わたし・・
もしかして
大きな
まちがいを
おかしたの
では・・・・


そのとき
オオカミは!!
うわ〜っ
きゃ〜
なんだ なんだ
なにが おこったん だ〜っ
校長!
なにが おこったんだ!?

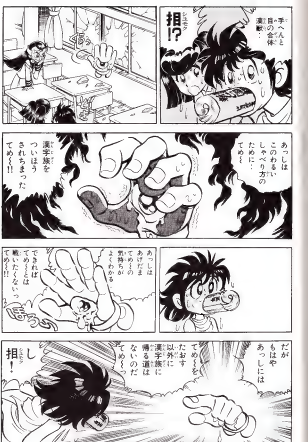

ダダダダ
しーーん…
ビリ ビリ ビリ
はあ はあ はあ はあ はあ
アグ アグ アグ
まったく うるさいったら ありゃしないわ
ガタ
ぬく必要はないわ 先生
一生そうやっていればいいのよ
でも で
じわ〜〜〜
お・・
おいら一生懸命やったのに
ぼた ぼた
だから めくわくなのよ

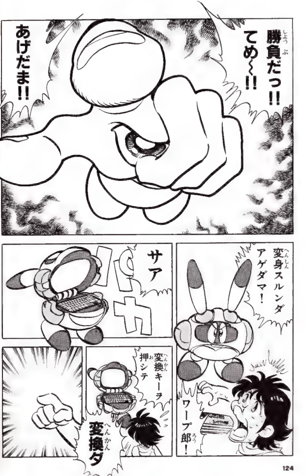

うっ うっ うっ うっ うっ
ふふっ 勝ったわ
ほーっほっほっほっほ
わたくしは あげだまに 勝った!!
ほっほっほ
ひどいわ九鬼さん そこまでいうことないじゃない!!
いぶき
あなたのその笑い声だってとってもめいわくなのよ
あなたも口の中に教科書をいれるべきだわ
な なんてことを…
……
ほ〜っ
ほっほっほっ
いれられるものなら
いれてごらんなさい


ギュッ
ほほほほ
やめろ いぶき
あげだま やめるんだ!!
口に教科書をいれられた者の気持ちは おいら いたいほどわかる・・・
とっても とっても つらい
この悲しみは
もう だれにも 味あわせたくないんだ
あげだま
きゅん…
わかったわ あげだま
ほくっ ほっほっほ
あまい
あまいわ あますぎる
そのあまさが いつか命とりになるわ



バシャアアン
きゃ〜っ
なんだ
うわ〜
おまえ
は!?
手と目の合体
漢獣 相!!
てめ〜!!
パコン
な なにを
するの
このわたしに
むかって…
バン!
てめ〜には
あげだまの
やさしさが
わからんのですか
てめ〜


手へんと目の合体漢獣…
捐!?
くるっ
あっしはこのわるいしゃべり方のために…てめ〜
漢字族をついほうされちまったてめ〜!!
あっしはあげだまてめ〜の気持ちがよくわかる…
できればてめ〜とは戦いたくないっ てめ〜!!
ほろっ
だがもはやあっしには
てめ〜をたおす以外に漢字族に帰る道はないのだてめ〜っ
し
捐!


勝負だっ!!
てめ〜!!
あげだま!!
変身スルンダ
アゲダマ!
サア
パカ
ワープ郎!
変換キーヲ
押シテ
変換ダ



ど どうしたんだ ワープ郎
気合いよ!
いまの あげだまには 戦う気合いが まったくないわ
だ だって
こいつとは 友だちに なれそうな ……
いうなっ てめ〜
これが あっしらの 宿命なんだ てめ〜っ
さあ こい!
てめ〜!! パーンチ


てめ〜
ちょっぷちょっぷ
ちょっぷちょっぷ
ちょっぷちょっぷ
ちょっぷちょっぷ
でででで
でででで
ビンタビンタ
ビンタビンタ
ビンタビンタ
ビンタビンタ
はあ はあ はあ はあ
はあ はあ
……
こ これでも
まだ
やらないか
てめ〜
やめよう
よ……
きみは
わるい
やつじゃ
ない…
なにを
してるの
はやくやって
おしまい
損!!
……
ぽろり

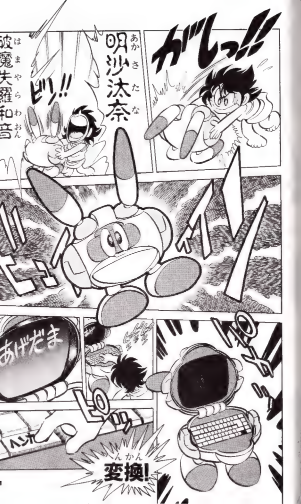

くっ
いまなら
相でも
あげだまを
たおすことは
できると
いうのに…
永栄王さま!!
ゴロゴロゴロ
ゴゴゴ
どうした麗
あげだまを
たおしたら
相をゆるして
やってくださいませんか
いまが
チャンス
なのです
そうか!!
いや
じつは
漢


あまりにも
相の言動に
ハラがたった
もんで‥‥
こんどこそは
りっぱで礼儀正しい
相つくろうと
やってみたんだが
ぜんぶ
失敗した!!
手と目を
あわせることに
はじめから問題が
あったようだ
ぜんぶ?
ぜんぶ?
百個つくって
ぜんぶ失敗
した
いまから
それを
おくる
それを
使って
あげだまを
たおせ!!



きゃ〜っ
やあ
なんだ
こいつ
やっつけろ!!
学校中が
すごい
さわぎに
なった!
たいへんな
ことに
なったぞ
考えている
ひまはないわ
あげだま
変換して
学校の平和を
とりもどすのよ
あなたが
やらなきゃ
だれが
やるの
よおおお
おおうし


うおおおおーっ!!
パンパンパンパンパン
おおっ
あげだまに気合いが入ったぞ!!
うおお〜〜〜っ
ガシャーン
だ〜っ
入りまくってる
ちょっとあぶないくらいに入りまくってるわ


ガしっ!!
明沙汰奈（あかさたな）
破魔失羅和音（はまやらわおん）
ビリ!!
あげだま
変換!（へんかん）


アゲダマン

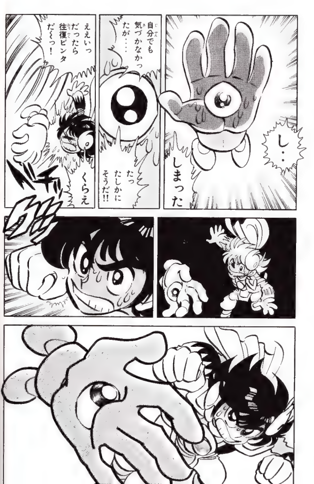


ようし
勝負だアゲダマン!!
ふふ
どうしたどうした
変換してもそのていどかてめ～っ
うお～～～っ



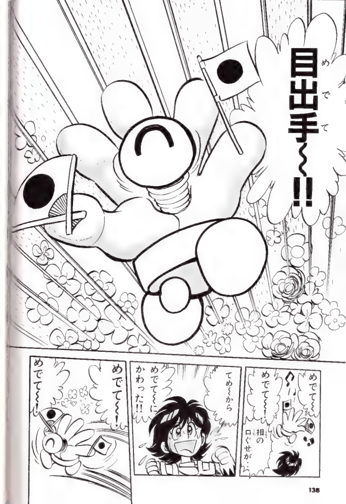
火炎の術〜
あぢぢぢぢゃ〜
ジャー!!っ
ようし
ぴっ!ぴっ!ぴっ!
水を手にすくってついてこいてめ〜
わかったてめ〜
さあ
どうするもう火炎の術はきかないぞてめ〜っ


すかっ
くらくら
くらくら
わかったぞ
掴!!
おまえの
弱点が!!
ヘロヘロヘロ…
な・・
なにィ
手を
にぎると
前が見えなくなる!
目がかくれるからな



し・・
しまった
自分でも気づかなかったが・・・・
たっ たしかに そうだ!!
ええいっ だったら 往復ビンタだ〜っ!
くらえ
バチッ


びよよ〜〜ん
ぱっ!
ぱっ!



目出手〜!!
めでて〜
めでて〜!
相の口ぐせが…
てめ〜から
めでて〜にかわった!!
めでて〜!
めでて〜!



く‥‥‥
だめや もう こんなに めでたくちゃ 戦えねく~っ
あんたが一番
ハッ
揖!!
わかったぞ 揖は後ろから たたけば いいのよ!
おおっ
さやーっ
それっ
あげだま
あっしの 負けや めでてく~
揖!
でも これで わるい 口ぐせが なおった めでてく~
きっと 永栄王さまも よろこんで むかえ いれて くださる めでてく~っ
そっか!
そいつは めでてく~や!!
あげだま ほかの揖も みんな めでてく~に かわったわよ
あんさんの おかげや めでてく~!!
よかった ね 揖!!


なに ぬけたこと いってるのよ 戦うのよ 抯!
いやや
抯!!
だめだわ…
めでてー
完全に おめでたく なってる…!!
事件は めでたく解決し 抯軍団は 帰っていった!!


めでて〜
めでて〜
ううむ
ううむ なにか 気分が めでたく なってきた!!
ようし いっぱつ パ〜っと まつりでも やるかっ!!
めでて〜
よかった 永栄王さまに 気にいられて めでて〜っ
あげだまくん 読んで
はいっ
はっ しまった!!
そのとき オオカミは!!
その吹雪の中で

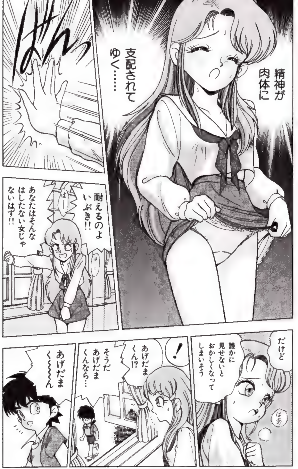

ぱあん
ごろん
ひどいわ
先生！
あっ
あぁ！
あー
あー
あー
ごっ
ごめんな
さい
つい…
こうしたら
めでたく
解決するか
なって
思って…
みてらっしゃい
あげだま
あら
わっしょ
わっしょい
わっしょい
祭
わたがし
いつか
かならず
あなたは
わたしの手で
しまつしてあげ
ますからね

(おわり)



ゲンジ通信
あげだま
〔オリジナル短編〕
「いぶきちゃん、またまた出番ですよ！」の巻
飯島 ゆうすけ
■ YUSUKE IIJIMA PRESENTS
あの～
主役オレなんだけど
19××年 盛蕎麦市は 正体不明の「人格が入れ換わっちゃうよ光線」により パニックに陥っていた
負けないわ こんな誘惑
はあ
だって…
はあ


あたしは平家いぶきだもの!!
でも今は麗さんの気持ちがわかる
ほっほっほっほ
ほ
ほ
なぜ麗さんが毎回あんな恥ずかしいカッコで出てこられるのか…
この血が
細胞の一つ一つが訴えているもの
麗の身体にいぶきの人格が入っている
ああわたしも
おもいきり短いスカートをはいて
パンツを見せたい!!
だめ…
意識がぼうっとして…
おいおい



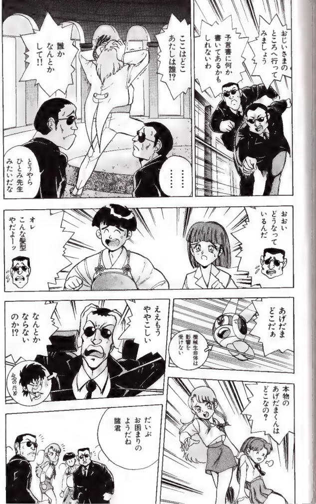
精神が肉体に
支配されてゆく……
ばんっ
耐えるのよいぶき!!
あなたはそんなはしたない女じゃないはず!!
だけど
誰かに見せないとおかしくなってしまいそう
はぁ
!
あげだまくん!?
そうだあげだまくんなら…
あげだまく〜〜〜ん


見てッ!!
な、何をするんだ九鬼やめるんだ!
俺にはひとみ先生という心に決めた人が…
ええっそんな…
あげだまくんはひとみ先生のことを…!!
ち、違う!!
あげだまくんにはあたしの事だけ見ていてほしかったのに〜〜〜!!
ひとみ先生のものになっちゃやだあ
だから俺はケンサクだってば


え…
ケンサク先生!?
えくくくっ!!
あ―
うれし
いや
びっくりしただ
あげだまの
肉体が
反応してたり
して…
もっこし
お願い先生
この事は誰にも
言わないで!
ペーこり!
お、俺は
いいんだが
はッ
この現象が
あたしと麗さんの
間にだけ
起った事じゃ
ないのなら
あたしの
身体には
今…
誰が
入っているん
だろう…!?
あッ
麗お嬢さま!



見て下さい
いぶきのやつ
こんなえっちな
パンツ持ってるん
ですよ～!!
しまった!
あわてて自分を
ぶっちゃった!
おっほっほっ
ほっほっ
ついに
負けを認めて
九鬼家の執事に
なりさがったと
いうわけね
あげだま
しっかり
奉仕なさい
おめーだって
執事に
なってんじゃ
ねーかよーっ!!
どー
なってんだよ!!

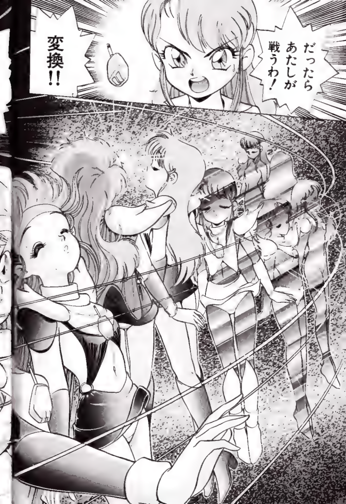


おじいさまのところへ行ってみましょう
予言書に何か書いてあるかもしれないわ
ここはどこあたしは誰!?
誰かなんとかして!!
……
どうやらひとみ先生みたいだな
おおいどうなっているんだ
オレこんな髪型やだよーッ
あげだまどこだぁ
機械生命体は影響を受けない
ええもうややこしい
なんとかならないのか!?
本物のあげだまくんはどこなの?
だいぶお困りのようだね諸君


わっはっはっは
ワープ郎変換だ!!
モデム！イーハブ!!
え――ッ
あんたが
ギン！
ビシ
気合いの戦士！
タナカマン参……
ドーん!!



だめだよ
あげだま
シュウウウウ
体格が
違いすぎて
変換できない!!
わははは
思った通りだ
なに!?
あげだマンが常に
小学生の体格で
現れる事に
気づかないとでも
思ったのか!?
おまえたちの中の
誰が本物の
あげだマン
だろうと
もう
同じことだ
そうだわ
ねえ
ワープ郎ちゃん
もう直っている
変換の秘密は
体格に有りと
いうわけだ
ワンダーいぶき(仮)
なら
身体が麗でも
変換できるかしら
できると
思うよ
体格差が
小さいからね


だったらあたしが戦うわ！
変換!!



ハイパー怨夜…
ワンダーいぶきデラックス(仮)!!
す、すごい
なんか知らんが強そうだ!!
ワンダーいぶきと怨夜巫女の相乗効果だ!
じゃんけんぽん!!
ぐわぁぁぁ負けた!
オオオオオオ



あッ…
なに…？
この感覚…!!
今まで経験したことのない
快…感…!!
おー
もどった もどった
くやしー
いぶきにいいとこ とられた…
おーっ ほっほっほっ
女王様とお呼び!!
ホッ ホッ ホッ
いぶきちゃん 性格 変ったなあ
おわり


ゲンジ通信
あげだま
（オリジナル短編）
「麗ちゃん、出番ですよ…アレ!?」の巻
またまたまた今日もまた
あげだマンに負けちゃった怨夜巫女なのであった！
■ SUPER PRESENTED BY
なかむら たけひこ



うわぁぁあぁん
いつもいつも
いつも あの
あげだマンに
してやられて
わたくしはみじめな
ひきたて役…！
もういやあっ
こんな生活!!
怨夜巫女なんて
もういやーっ!!
乙女の傷つきやすい
ハートはもう
ズタズタですわ
ええい！
何を弱気な!!
わあああぁぁん
なさけないぞ
麗！
わしゃそんな娘に
育てたおぼえは
ないぞっ！
でもわかる
よな
うん
俺だって女房と
子供がいなきゃ
世界征服なんて
情けない仕事
なんかさぁ
そうそう
しかし…


意外!
あのお嬢様でもこういう繊細な神経があったとはなぁ〜〜〜
…ああ素顔の私を誰も知らない…ですのね
ほんとは林しい
ひとり〜〜い
くすん
「あのお嬢様でも」とはなんだ———っ!!
あっち行けばかぁぁぁ!!
はあはあ
はあはあ
ぼぉっちいよお
しかしのお
怨夜巫女なしでどうやって世界征服せぇというんじゃ
佐藤田中鈴木ではどうも不安じゃからのお
ならひと思いに世界征服はあきらめてバカ、そうなりゃ俺たち失業だぞ
おおそうじゃ



こまった時の
予言書
予言書と
だ、旦那様!ごかんべんを
それだけは〜〜〜〜〜っ!!
名案が
あります
ここはひとつ
私どもに
おまかせを
なに、鈴木
名案とな?
ええ〜っ
な、なんですって!?
あ、あたしが
麗さんの代役を
つとめるために
お屋敷へ!?
なぁるほど
考えたな鈴木
麗様のかわりに
平家いぶきを
怨夜巫女として
スカウトするとは
まさに
名案だ!
ふっふっふっ
だろー


あのお嬢様のおもりは
いいかげん身も心も
ボロボロになるもんなァ
その点
平家いぶきなら
まさに天使！
お、俺なんか
長生きできるような
気がしてきたっ！
これぞ鬼の居ぬ
間の洗濯命の
洗濯だ
ハイソックスも
よく似合うし
…早く
結婚しろよ
あのなあ！
いぶきちゃんに
あの恥しい成金娘の
身替りなんて
できるわきゃ
ないだろーーーっ!!
その点は
大丈夫
ポチッとな
ああ～～っ
はっはっはっ
なっ
な、なんて
ノリやすいん
だあ～～～っ！
なははは
はは



天呼ぶ
地呼ぶ
人が呼ぶ
…これってま、まさか!?
あげだマン!
なんで!?今回何か悪いことしたかあ!?
悪を倒せと
わァたくしを呼ぶんですのよっ!!
!!
見参!!
気合いの美少女戦士
あげだマガール(仮)!!
ですのよ
お、お…おじょおおうさまあぁっつ!!
れ、麗…!



こおるるるあぁ
佐藤田中鈴木！
おまえたちフラチにも
麗の目を盗んで
由緒ある九鬼家に
名もなき庶民の娘を
ひきこもうとは
言語道断横断歩道！
お嬢様、こ…これには
深いワケが…仕事に
疲れた中年男の
ささやかな夢が
ゆるしません
わよっっ!!
んまあっ
麗さんて
ス・テ・キ♡


後にいぶきちゃんを
あげだマンの
コスプレにはしらせた
ものはこの時の感動
だった ——の
かもしれない
きまったわ!
きまった!
びし——っとね!
これよ、
これだったのよっ!!
天に替わって
悪を討つ!!
これこそ才色ともに
備えたわたくしに
ふさわしい仕事…
天職なのですわっ!
ほ～っほっほっほっほ
な、なんじゃと!?
麗がさっそうと
あげだマンのように
現われ お前たちを
こらしめたと!?
なんですぐに
報告
しないんじゃ!
も、もうしわけ
ありません!
麗のせっかくの
晴れ姿を録画
しそこねたでは
ないか
……
END


ゲンジ通信
あげだま
■ 怒濤の最強タッグ実現!?
ILLUSTRATION BY
シン ツクル & T. うすら




著者近影(本当)

★ 怨夜巫女は、設定書のころから目をつけてたんですよ〜っ…ということで、今回、待ってましたとばかりにコスプレしてしまいました。 許してん♥
え と、私は、'92年度の『女の子アニメキャラナンバー1』は
"九鬼 麗"ちゃんといいたい!!（あっ、火野レイちゃんも捨てがたいな）おい！



ワンダーイブキ(仮)
後半の新ＯＰ(オープニング)に出て来てから
いったい、いつ出てくるものかと思っていたら
最後の３回だけとは…もっと、早目に出て来て
ほしかった気もするけど
やっぱ、怨夜巫女
…と張り合うには
これくらいにＨィ
カッコでなきゃ♥
『セーラー服
美少女戦士』に
対抗して…
『ブルマー美少女
戦士』とか…
ん〜っあぶない
私が一番好きな話は「麗とあげだま同棲中!?」
ですね。いぶきちゃんもけっこうかわいかったし
いやがってるあげだまもなかなかかわいーじゃな
いの♡
だきつき レイちゃん の巻♡
ホ〜ホッホッホ
ぎえ〜
んべ〜〜
単なる いやがらせ。
い、いぶき
ちゃ〜ん
誤解だあぁぁ
by T. うずら
by シン ツグル


「あげだま」は、最近の変に気取った漫画や
アニメに少なくなったノリの良さ＋テンポ
良いギャグ＋サービス・コスチューム
＝パワーのある正統派少年漫画！
だったと思う。
他にも、色々と描きたい事とか
あるけど…今回はこれにて失礼。
1993.1.10

なんとなく通信 あげだまんが



わしはそうま竜也




さあいつものように
あげだマンをおびき出し
罠に引っかけるのよ
そして餌はやはりいつものように
あげだマンの大切な友人であるこいつだー!!
はいはい良かったねーうれしいねー
しかし毎回毎回よくいじめられるよなーこいつ
なあ
それ以上の悪ふざけはこのあげだマン(2号)がゆるしません!
さあ今すぐあげだま君を放しなさい!!
ヂャーン
オレいつもこのシュチエーションにドキドキしてたんだが…？
なんか変だな
いつも通りだろー
おまちなさいっ
おーっ平家いぶき!
のあげだマン…
そ…そんなミもフタもない〜〜

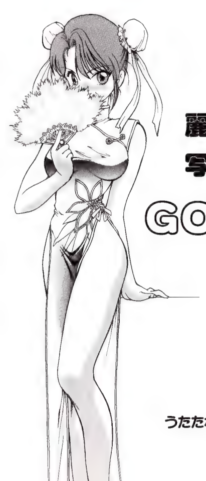


ふん
まあいいわ せっかく出て来たんだから
あなたの得意わざでも見せてもらいましょう！
ならばっ ジャンケンで勝負よ!!
じゃんけ〜ん
やだ
ズテッ
や やだと言われても見せてって言うから…
それじゃ金魚すくいよ!!
れい つまんなーい
そ それじゃあ
お笑い勝負…じゃなくてェ
月に代って
いやよ レイちゃん
えーいっ わたしはそうゆうじょうだんが一番キライなのよっ
このアーがっ!!
ドドベッ
カァ
カァ
あ〜っ!!
いぶきちゃん
はっ!!


ゆ…夢!?
いやですわー 大口あけて よだれなんか
ベロンベロン だしてまー みっともない
れ 麗さん !
はっ!
だっだれよ あげだま君の机に 花なんて置いたのは――っ!!
わたくし です
まっ なんせ あんなやつでも 居なきゃ居ないで つまらないから せめて机でも華やかに してあげようと 思いましてねェ
お～っほっほほほ
ほほほ
ああ…
そうか
居ないんだ あげだま君…
……
元気にしてる かしら あげだま君
あっ
ちょっとまてー 私が主役じゃ ないんかー――
こらーっ 平家いぶき おいしい所だけ もそくなー!!
おしまい

ゲンジ通信あげだま

麗様の写真でGOGO!

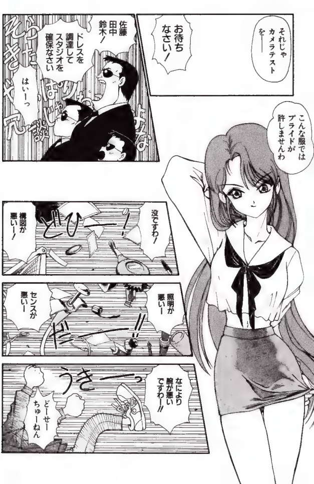


うたたねひろゆき

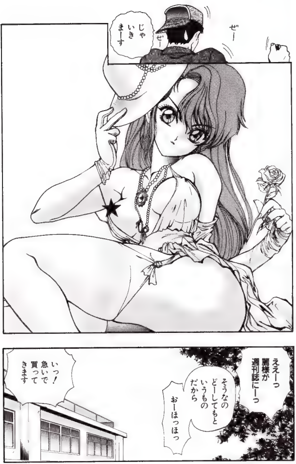


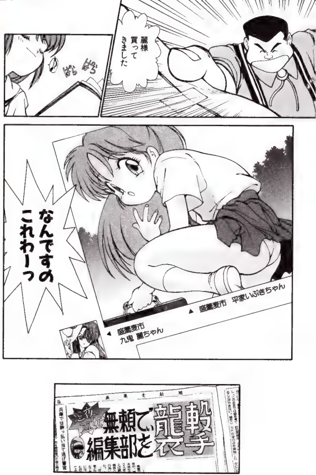
あ！
ちょっと
すいませーん
え？
なん
ですの？
写真週刊誌
〝無頼でい〟？
わたくしの
写真でも
とらせろと
いうん
ですの？
そっ！
そーなんスよ
〝街で見つけた
カワイコちゃん〟
って企画でして
ぜひともその
佐藤
はっ三流
ゴシップ誌
です
お嬢さま


おおーっほっほっほ
まったく オナカのラッパが ブーですわ！
いやしくも 九鬼財閥の血を引く ワタクシに下々の 雑誌などが
おととい いらっしゃる ことね！
ひら
ピッ
はー そーですか いや残念 その美貌も
ひゅるりら〜
盛蕎麦市のみの人で 終わるわけ ですね
ぴくっ
んじゃ
お待ち なさい
くい
と
か…考えて みれば下々の 者にも生きる ための希望と ゆーものが 必要ですわね
おーほっほっ
このわたくしの パーフェクトで スーパーDXかつ グレイトリッチな 美貌が役に立つ のであれば協力 して差し上げてよ
ねえねえ 生きる希望って 僕のオカズの ことかな？



それじゃ
カメラテストを——
お待ちなさい！
佐藤
田中
鈴木！
ドレスを調達してスタジオを確保なさい
はいーっ
こんな服ではプライドが許しませんわ
没ですわ！
構図が悪いー！
どひーー！
照明が悪いー
センスが悪いー
なにより腕が悪いですわー!!
うきーーっ
どーせーちゅーねん


ぜー
ぜー
じゃいきまーす
ええーっ麗様が週刊誌にーっ
そうなのどーしてもというものだから
おーほっほっ
いっ！急いで買ってきます



ぱら ぱら
麗様
買って
きました
なんですの
これわーっ
▲ 平家いぶきちゃん
▲ 九鬼 麗ちゃん
兵庫では酔っ払い当て逃げ警官
無頼てぃ
編集部を

おわり

ビークラブ ビジュアルコミック ゲンジ通信あげだま

目次

カバー・扉・ポスター原画／辻　初樹
セルワーク／スタジオぎゃろっぷ

【発行日】　1993年3月10日
【発行人】　山科　誠
【編集人】　加藤　智
【発行】　株式会社バンダイ
〒111-81 東京都台東区駒形 2-5-5
〈営業〉 TEL 03-5828-3070
【写植・版下】　有限会社エストール
【印刷】　共同印刷株式会社

【編集・構成】　伸童舎／井上　徹　渡辺利浩　松本富之　磯部健一
【編集協力】　堀川裕之（またたびスタジオ）
【デザイン】　シイバミツヲ&ケンヂ
【協力】　ASATU、キングレコード、スタジオぎゃろっぷ、講談社

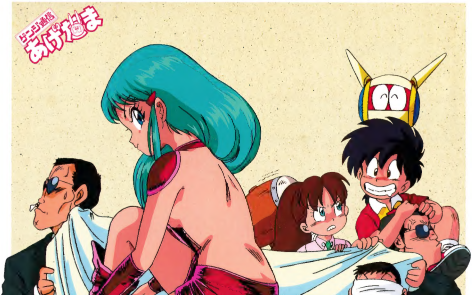
ISBN4-89189-208-0



ゲンジ通信あげだま






ゲンジ通信
あげだま



原画：辻初樹　セルワーク：スタジオぎゃろっぷ







ゲンジ通信
あげだま

定価1500円(本体1456円)

ISBN4-89189-208-0 C0076 P1500E